

「子どものインターネット利用に関する保護者アンケート」

調査結果

2008年12月26日

財団法人インターネット協会

【調査実施の概要】

調査目的	子どもの家庭におけるインターネット利用やフィルタリング利用の実態を把握し、フィルタリングの普及啓発における障害や課題を定量的に明らかにする。
調査方法	インターネット調査(パソコン)
対象対象	全国にお住まいの20歳以上でお子様をお持ちの方
調査依頼数	8990サンプル
総回収数	4364サンプル
分析母数	3960サンプル

自宅のパソコン・携帯電話・ゲーム機・テレビ機のいずれかを使って
子ども(第一子)がインターネットを利用している方を下記の条件にて抽出

- ・第一子が小学4～6年生の保護者1320人
- ・第一子が中学1～3年生の保護者1320人
- ・第一子が高校1～3年生の保護者1320人

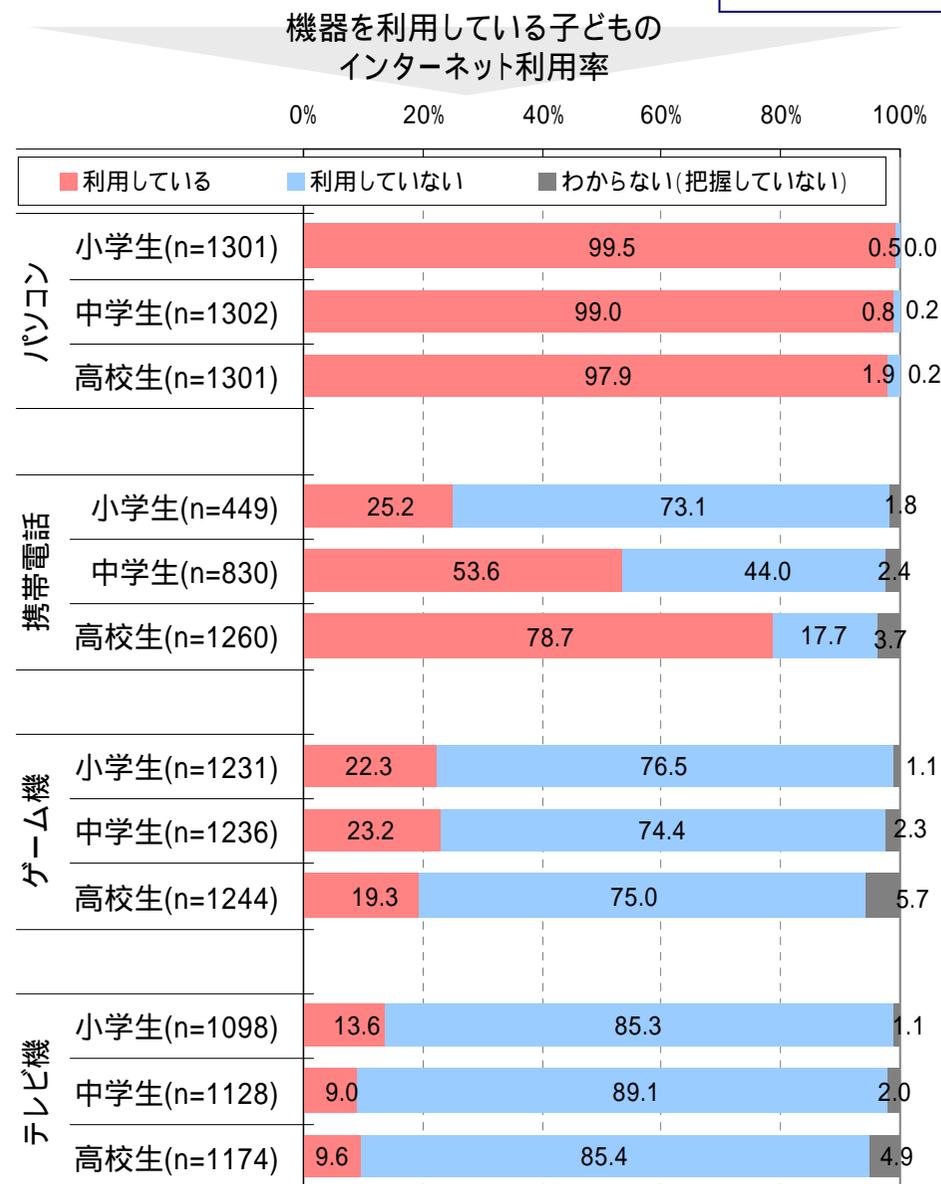
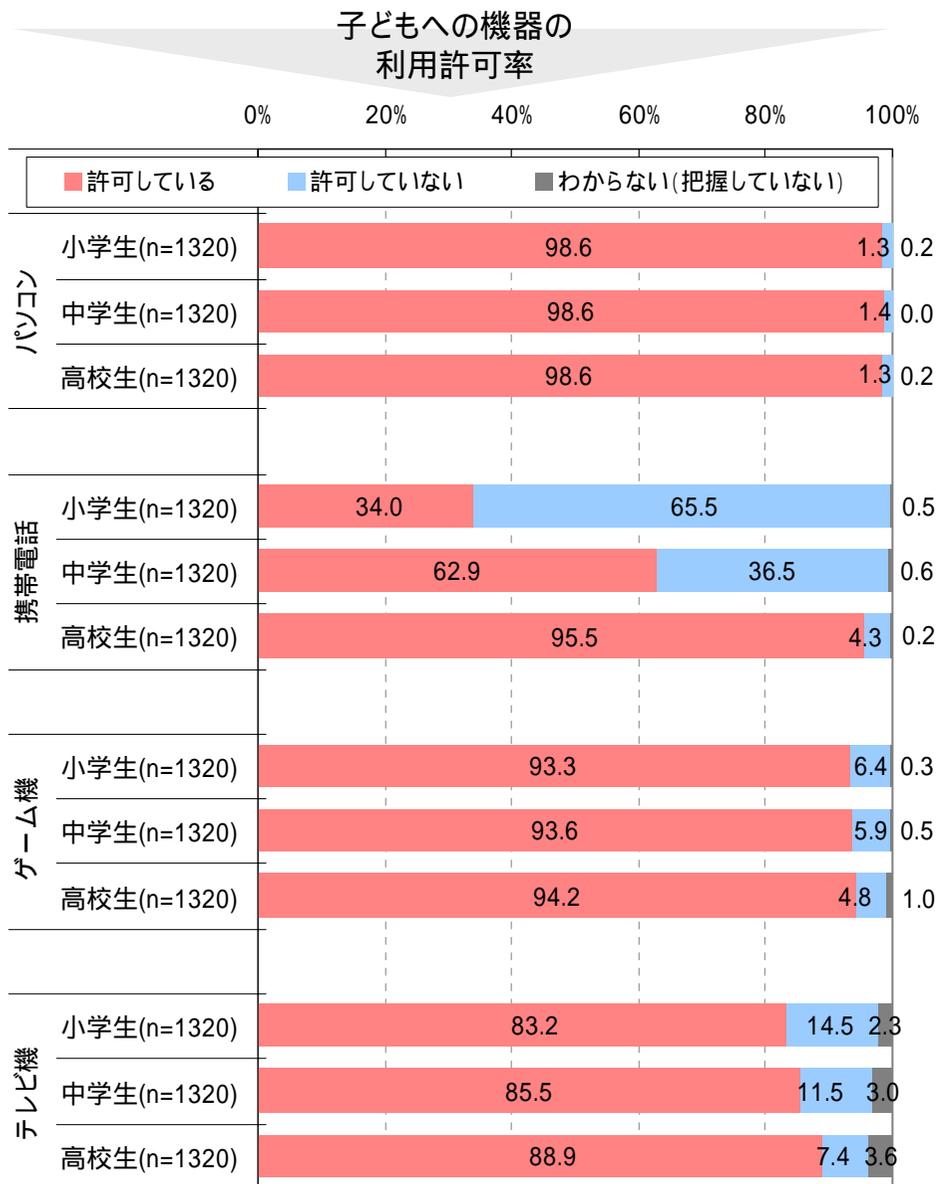
各1320人の内訳		保護者	
		男性	女性
第一子	男子	330人	330人
	女子	330人	330人

実施期間 2008年12月3日 ~ 2008年12月5日

0. 各機器における利用許可率とインターネット利用率

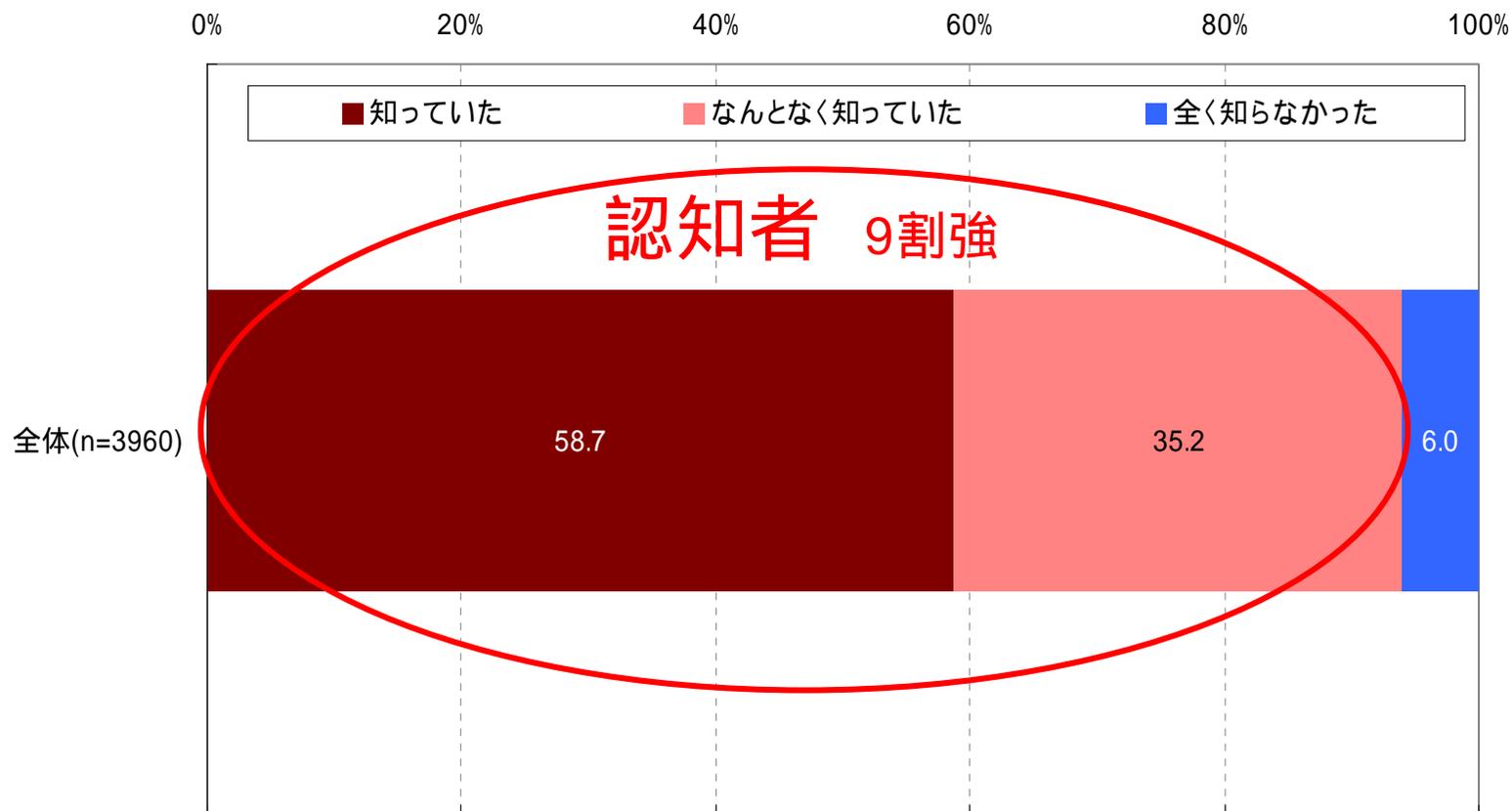
[比率の差の検定]
(全体結果との差)
有意水準 高 低
99%
95%
90%

- 回答者3960人の子どもへの各機器利用許可率と、各機器を利用している子どものインターネット利用率は以下のとおり。



1. フィルタリング認知率

- フィルタリングの認知率については、「知っていた」(58.7%)と「なんとなく知っていた」(35.2%)とあわせると、9割強(93.9%)となっている。



2. フィルタリング認知率（保護者の男女差）

- 保護者の男女差をみると、「知っていた」の割合が男性で有意に高く(66.3%)、反対に女性において有意に低く(51.2%)になっており、男性のほうがフィルタリングに対する認知レベルが高いといえる。

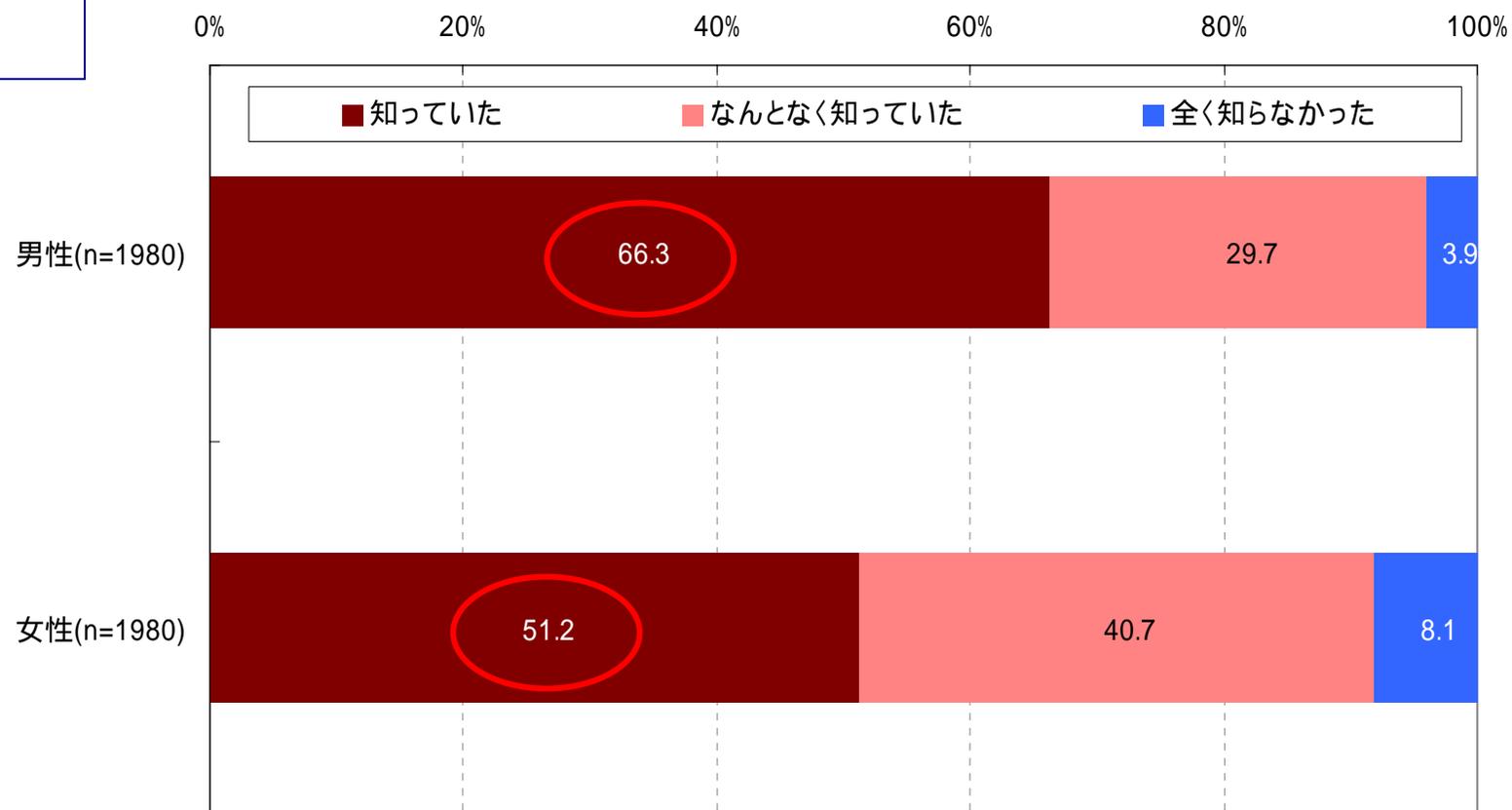
[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低

99%

95%

90%



3. フィルタリング認知率（子どもの学齢による差）

- 子どもの学齢による差をみると、「知っていた」の割合が小学生の保護者で有意に低く(53.6%)、高校生の保護者は有意に高く(62.9%)になっており、子どもの学齢が上がるほど、保護者のフィルタリングに対する認知レベルが高いと考えられる。

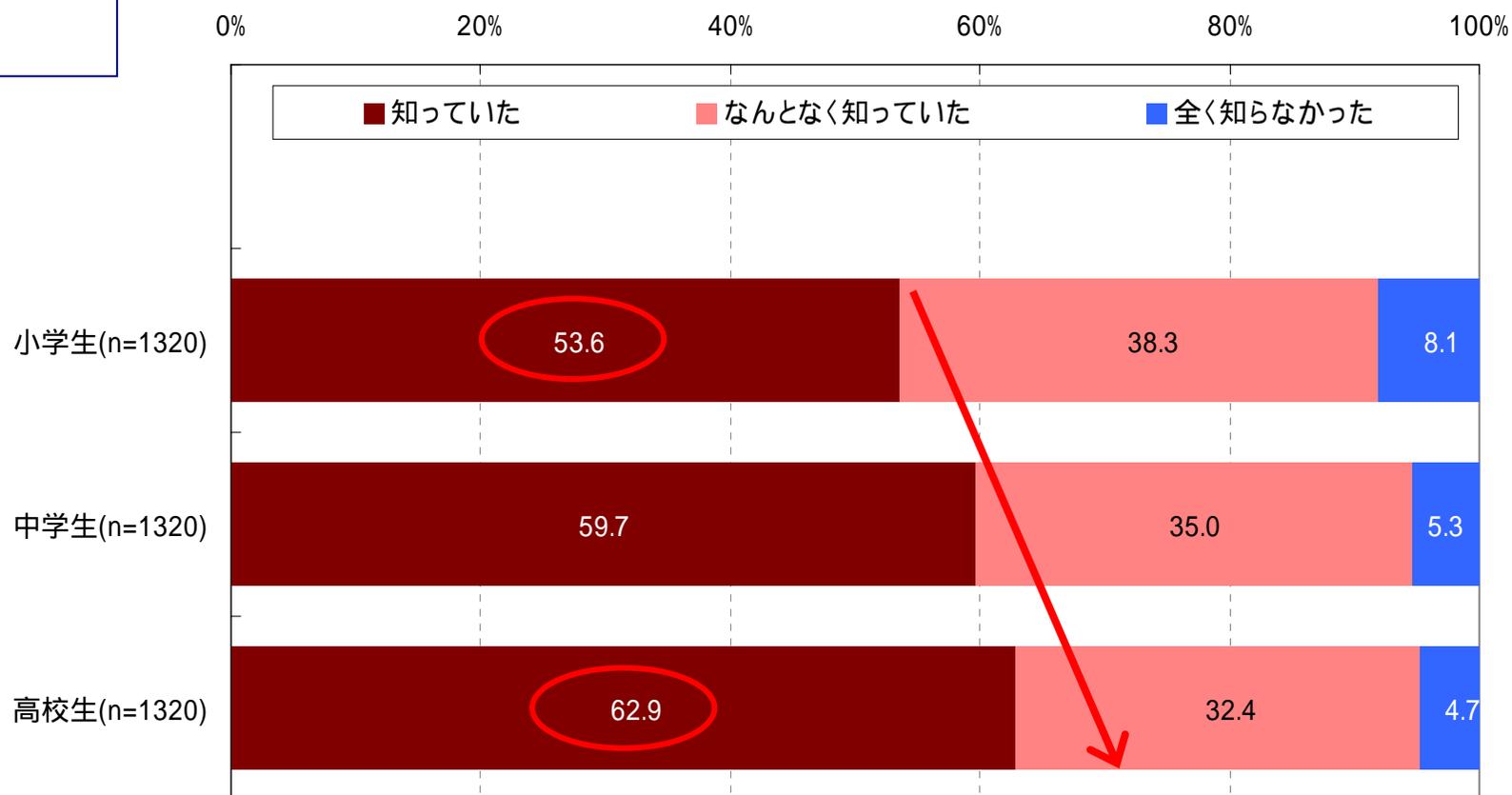
[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低

99%

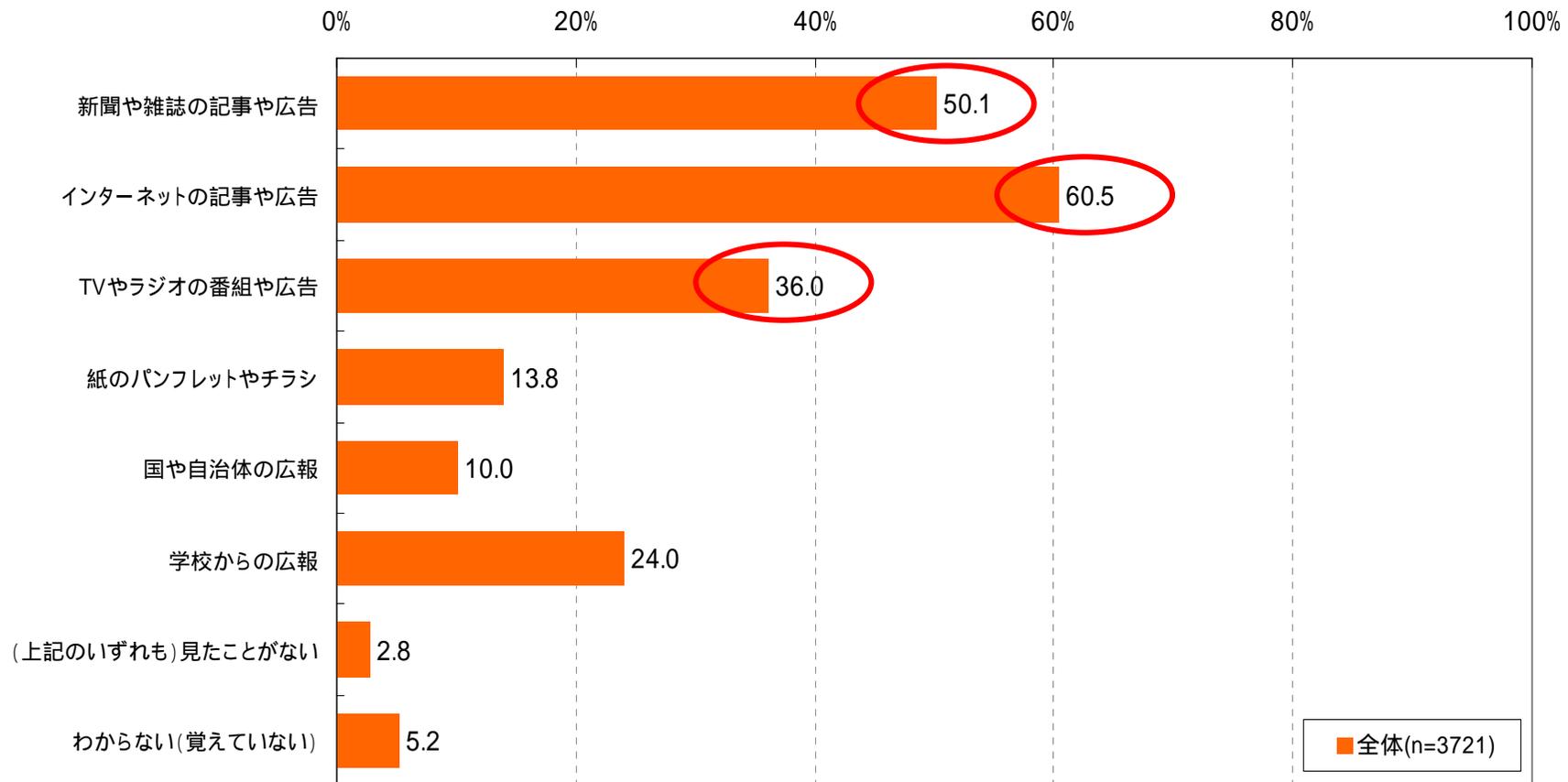
95%

90%



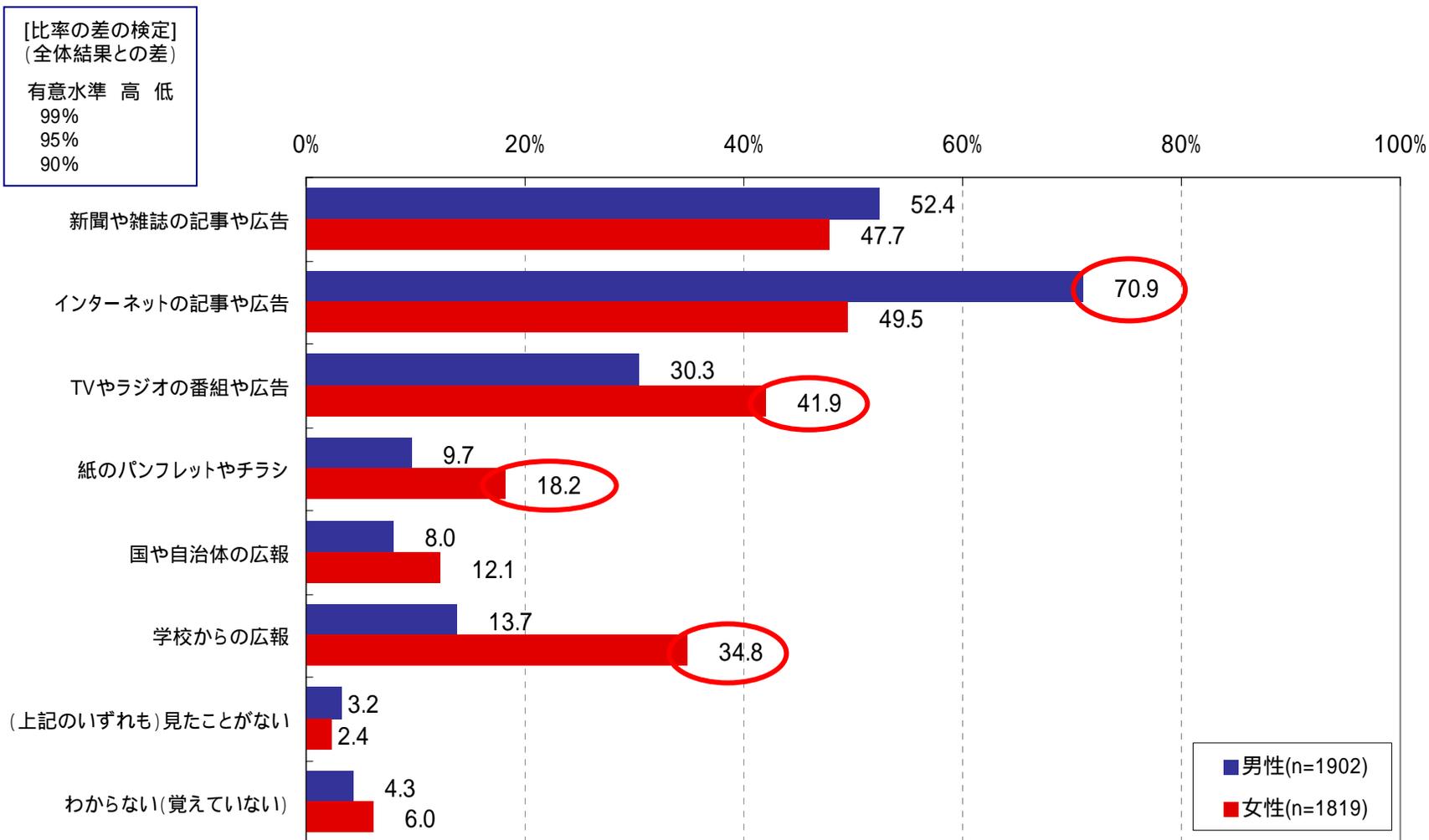
4. フィルタリング認知経路 - 認知者グループ

- フィルタリングの認知者グループに認知経路をたずねたところ、最も回答が多かったのは「インターネットの記事や広告」(60.5%)。
- 以下「新聞や雑誌の記事や広告」(50.1%)、「TVやラジオの番組や広告」(36.0%)と、マスメディア系の媒体が続いている。



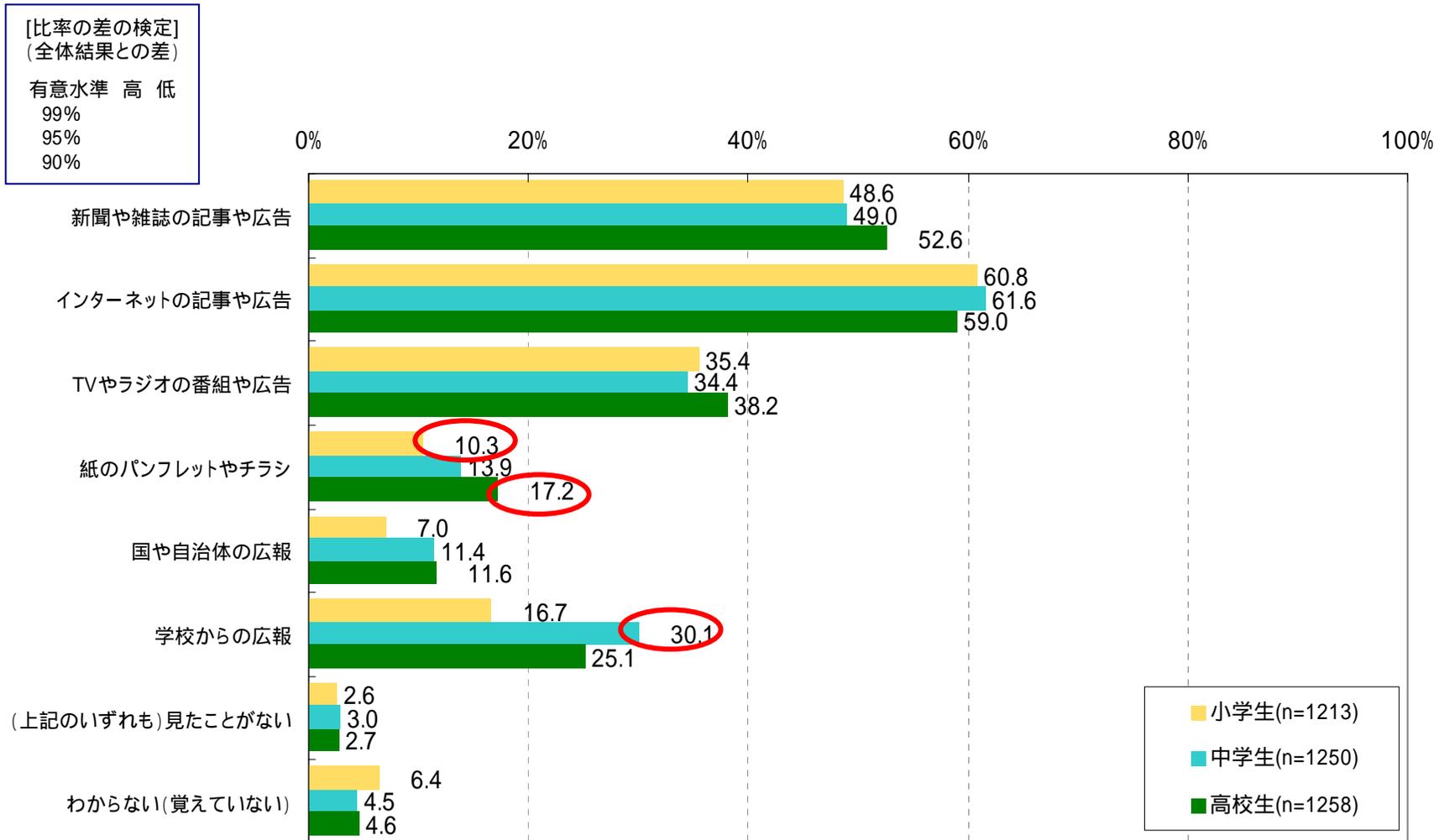
5. フィルタリング認知経路 - 認知者グループ（保護者の男女差）

- 男性では、「インターネットの記事や広告」が女性よりも高い。
- 女性では、「TVやラジオの番組や広告」「学校からの広報」「紙のパンフレットやチラシ」などで男性よりも高くなっており、女性にとって「学校からの広報」はマスメディア系媒体には及ばないものの、重要な認知経路になっていることがうかがえる。



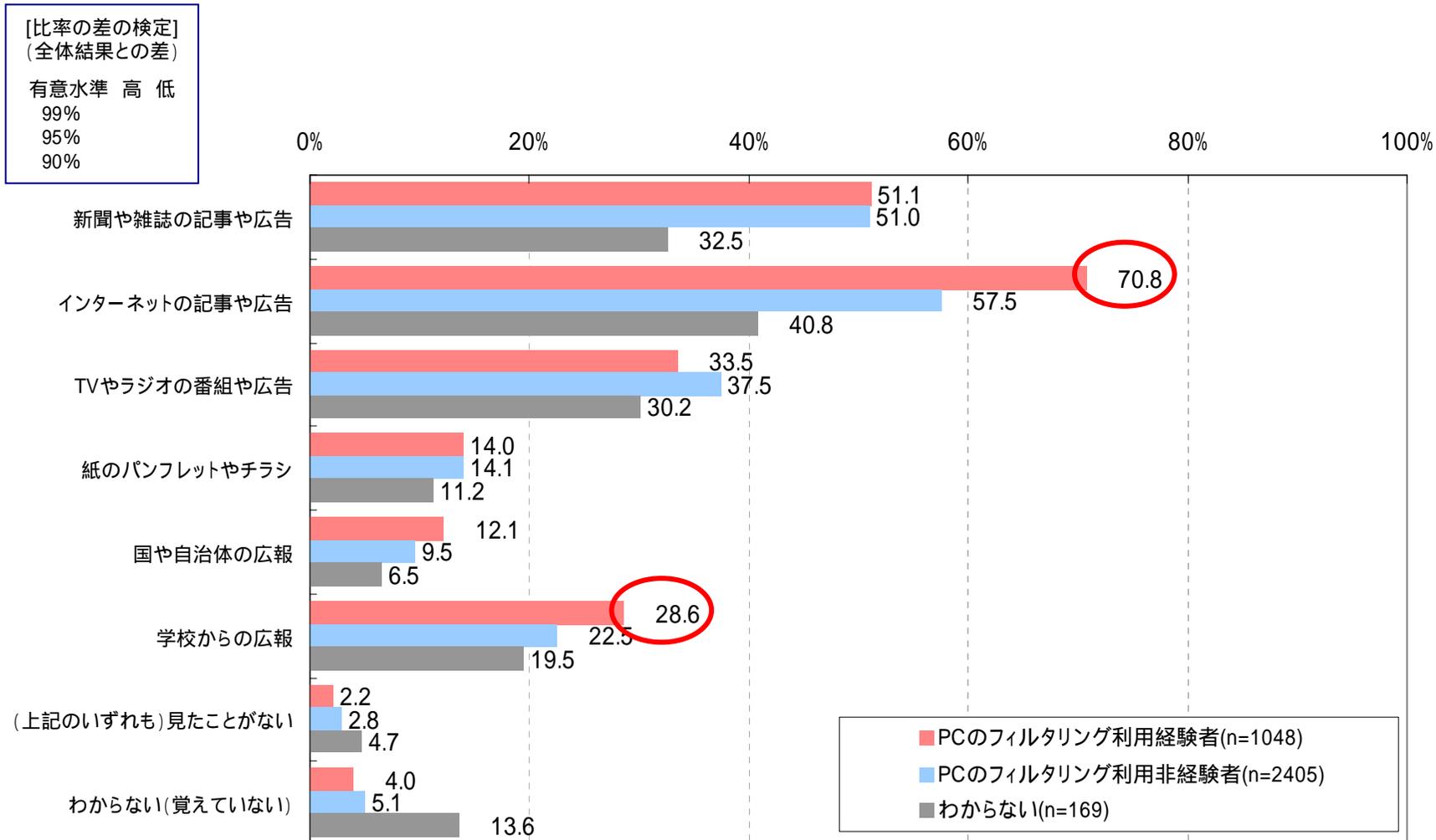
6. フィルタリング認知経路 - 認知者グループ (子どもの学齢による差)

- 中学生では「学校からの広報」(30.1%)、高校生では「紙のパンフレットやチラシ」(17.2%)を通じて認知する割合が高い。
- 一方、小学生は、マスメディア系以外の媒体が全て低い。



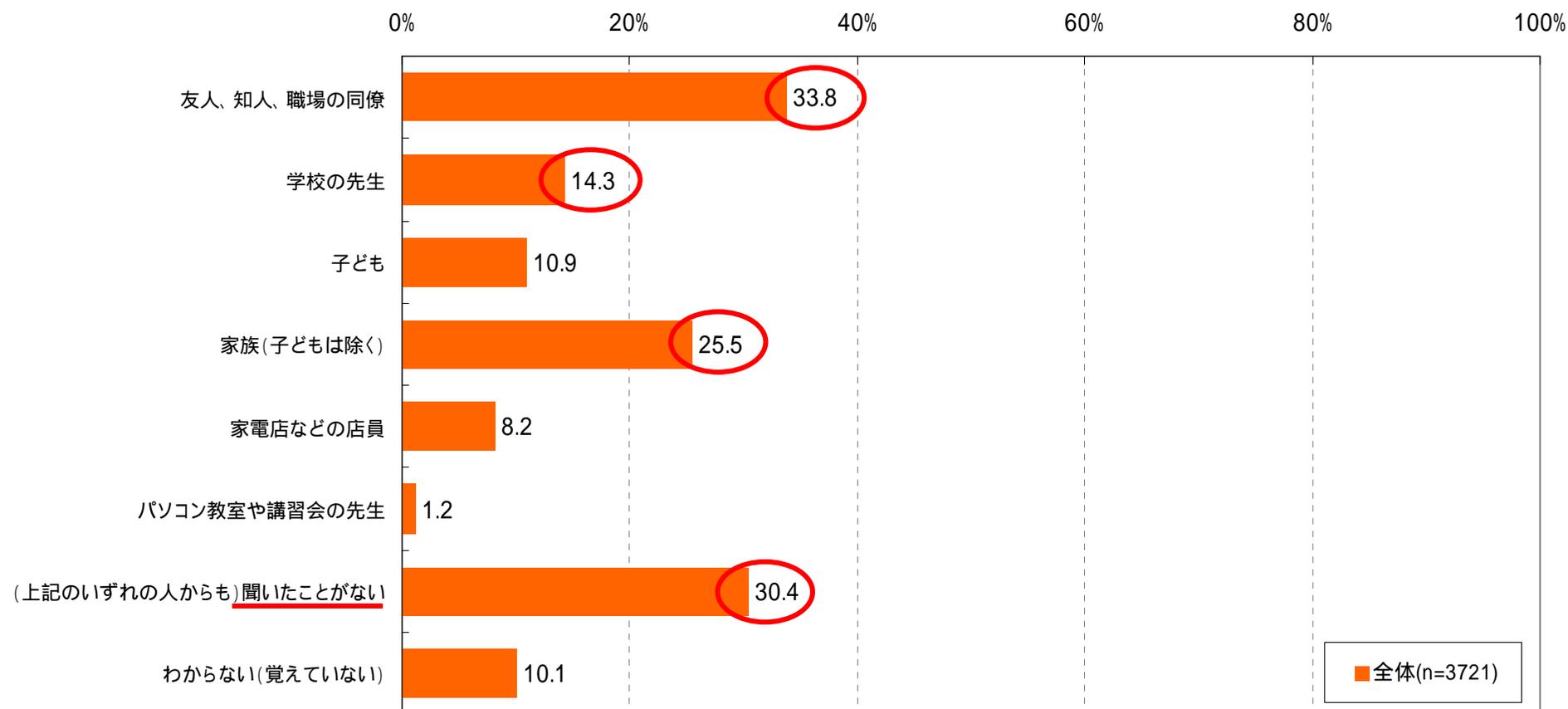
7. フィルタリング認知経路 - 認知者グループ (パソコンのフィルタリング利用経験による差)

- パソコンのフィルタリング利用経験者(1048人)は、「インターネットの記事や広告」(70.8%)、「学校からの広報」(28.6%)が高い。



8. フィルタリングを誰から聞いたか - 認知者グループ

- フィルタリングの認知者グループに誰から聞いたかをたずねたところ、最も回答が多かったのは「友人、知人、職場の同僚」(33.8%)で、以下「家族(子どもは除く)」(25.5%)、「学校の先生」(14.3%)と続いている。
- 一方、「聞いたことがない」も30.4%で、誰からも聞いていない・話題になっていない人も認知者全体の3割を占めている。

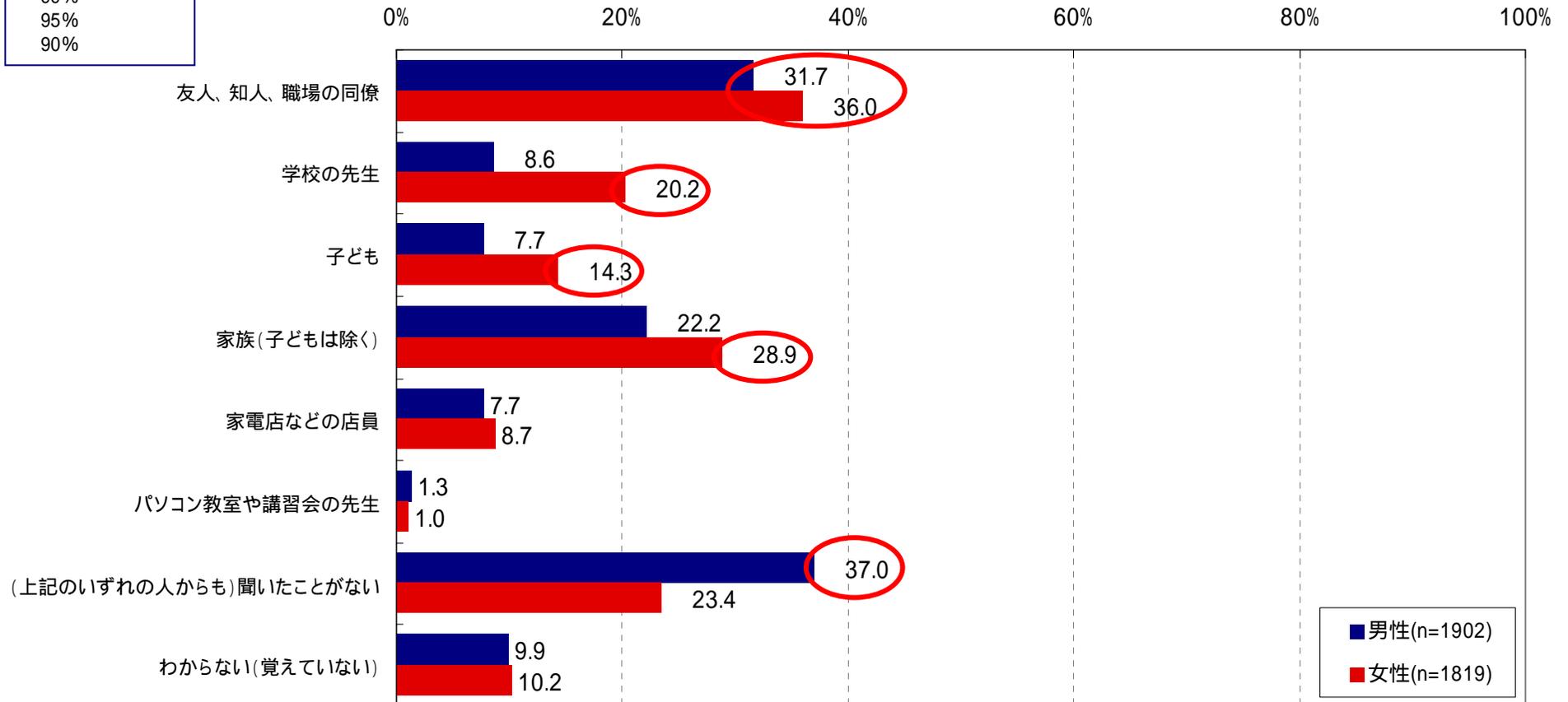


9. フィルタリングを誰から聞いたか - 認知者グループ (保護者の男女差)

- 保護者の男女差をみると、男女ともに「友人、知人、職場の同僚」(男性31.7%、女性36.0%)が最も高い。
- ただし、男性では「(上記のいずれの人からも)聞いたことがない」(37.0%)が有意に高く、フィルタリングについて人から聞いたり、話題にする人が少ない。
- 一方、女性では「友人、知人、職場の同僚」(36.0%)のほかに、「家族(子どもは除く)」(28.9%)、「学校の先生」(20.2%)、「子ども」(14.8%)が有意に高い結果となっており、女性はフィルタリングについていろいろな相手と話す機会が多いと考えられる。

[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低
99%
95%
90%

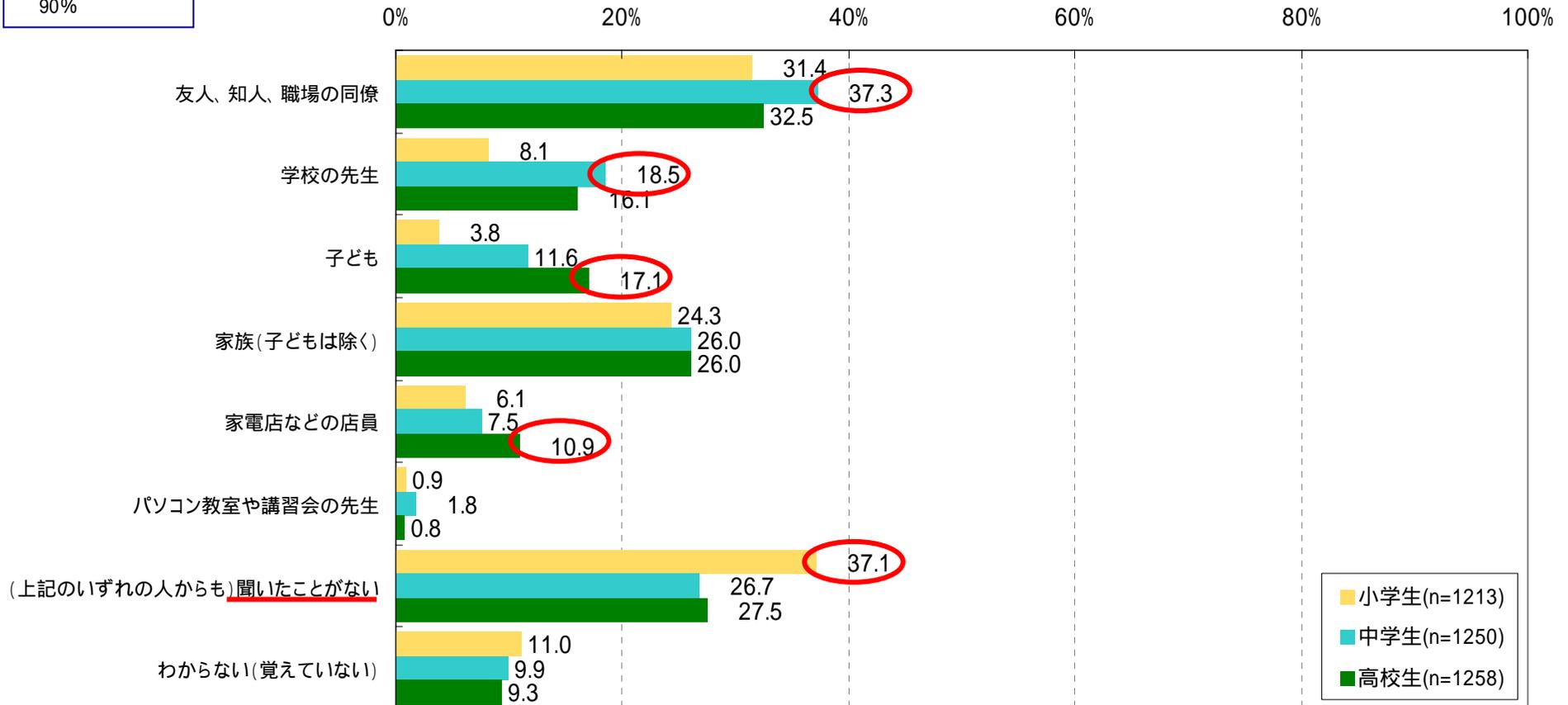


10. フィルタリングを誰から聞いたか - 認知者グループ (子どもの学齢による差)

- 中学生では「友人、知人、職場の同僚」(37.3%)、「学校の先生」(18.5%)が高く、高校生では「子ども」(17.1%)、「家電店などの店員」(10.9%)が高い。
- 一方、小学生は「(上記のいずれの人からも)聞いたことがない」(37.1%)の割合が高く、人から聞いたり、話題にしたことのある保護者が少ない。

[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低
99%
95%
90%

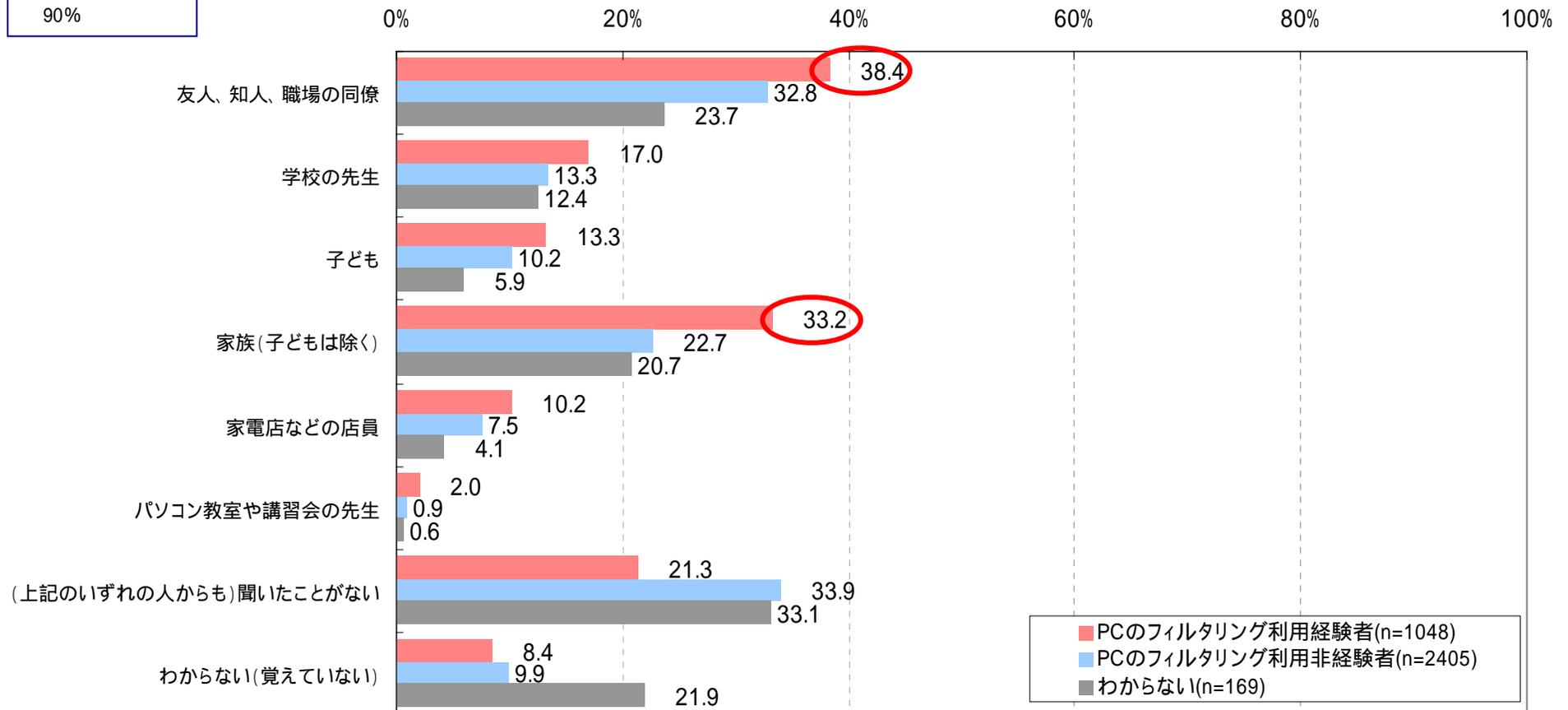


11. フィルタリングを誰から聞いたか - 認知者グループ (パソコンのフィルタリング利用経験による差)

- 認知者のうちパソコンのフィルタリング利用経験者(1048人)は、「友人、知人、職場の同僚」(38.4%)、「家族(子どもは除く)」(33.2%)から聞いたり、話題にしたことのある割合が高い。

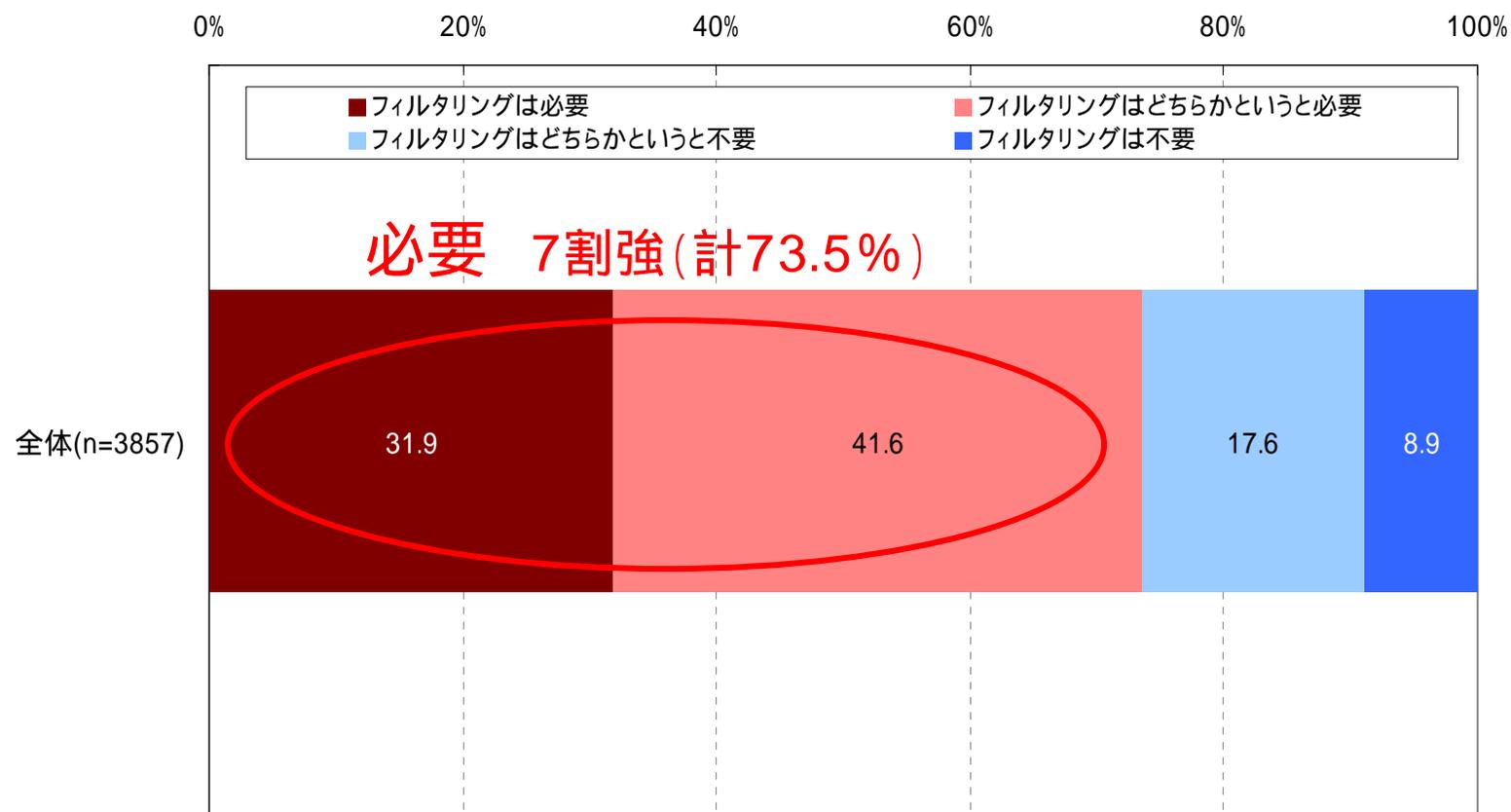
[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低
99%
95%
90%



12. フィルタリングのニーズ –パソコン利用者

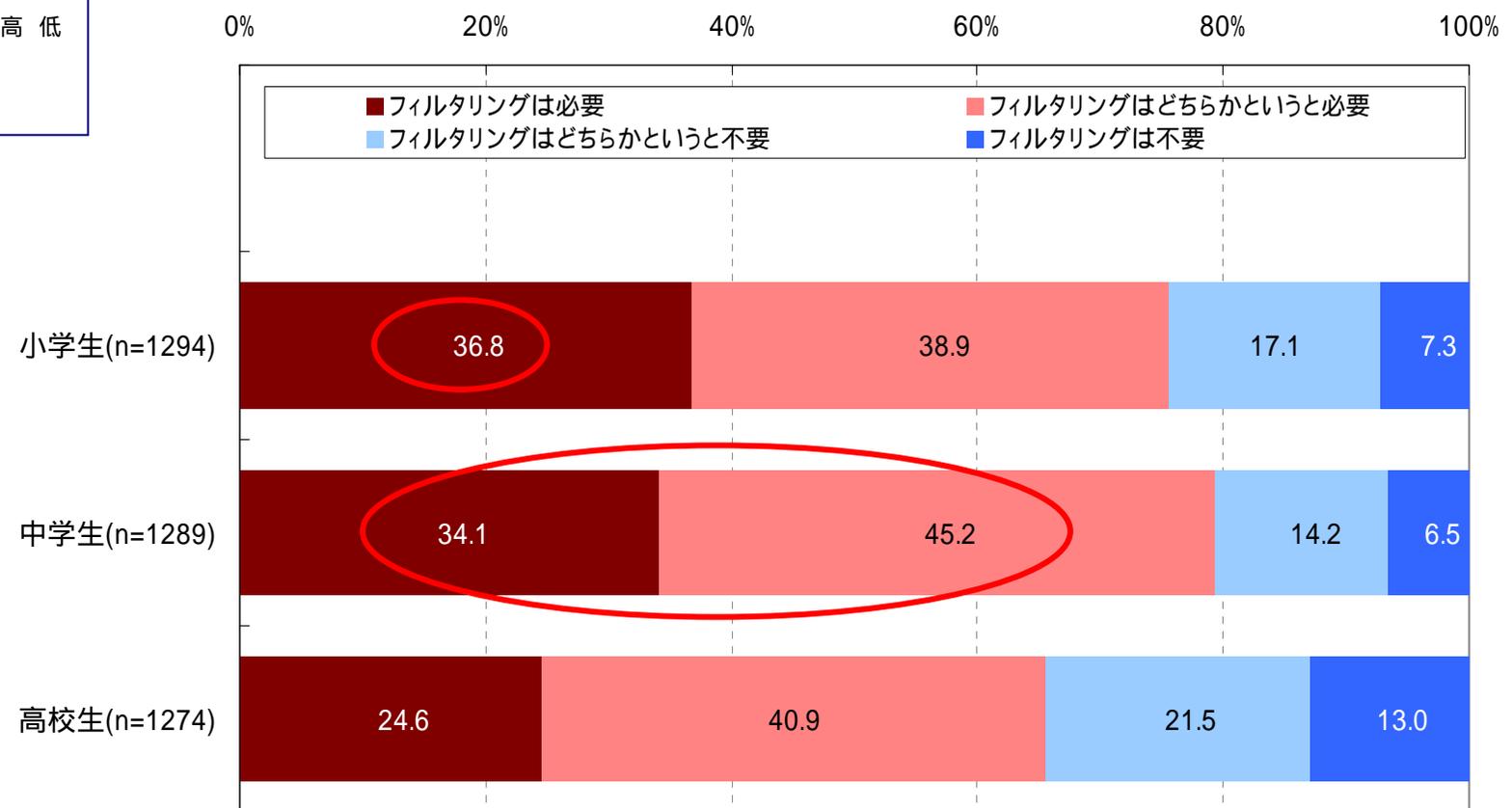
- 子どもが家庭のパソコンでインターネットを利用している人(3857人)にフィルタリングに対するニーズをたずねたところ、「必要」(31.9%)と「どちらかという必要」(41.6%)をあわせると、7割強の保護者がフィルタリングを必要だと感じている。



13. フィルタリングのニーズ –パソコン利用者（子どもの学齢による差）

- パソコンのフィルタリングに対するニーズについて、子どもの学齢による差をみると、小学生で「必要」(36.8%)の割合が有意に高いほか、中学生でも「必要」(34.1%)と「どちらかという必要」(45.2%)が有意に高く、中学生以下の子どもを持つ保護者でニーズが強い。

[比率の差の検定]
 (全体結果との差)
 有意水準 高 低
 99%
 95%
 90%

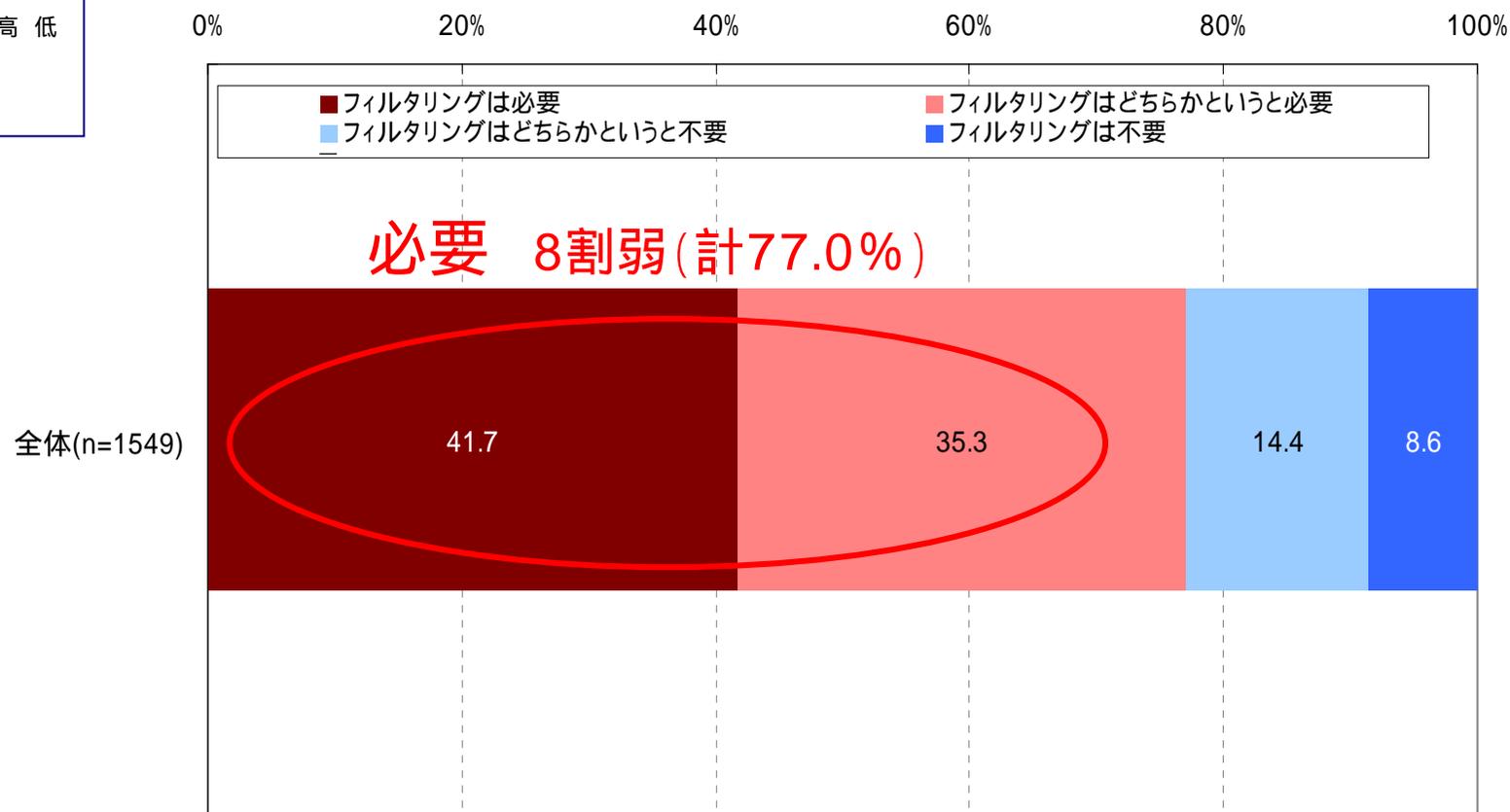


14. フィルタリングのニーズ –携帯電話利用者

- 子どもが携帯電話でインターネットを利用している人(1549人)にフィルタリングに対するニーズをたずねたところ、「必要」(41.7%)と「どちらかという必要」(35.3%)をあわせると、8割弱の保護者がフィルタリングを必要だと感じており、「不要(どちらかといえば不要も含む)」(23.0%)を大きく上回る結果となっており、パソコンと同じ傾向がみられた。

[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低
99%
95%
90%

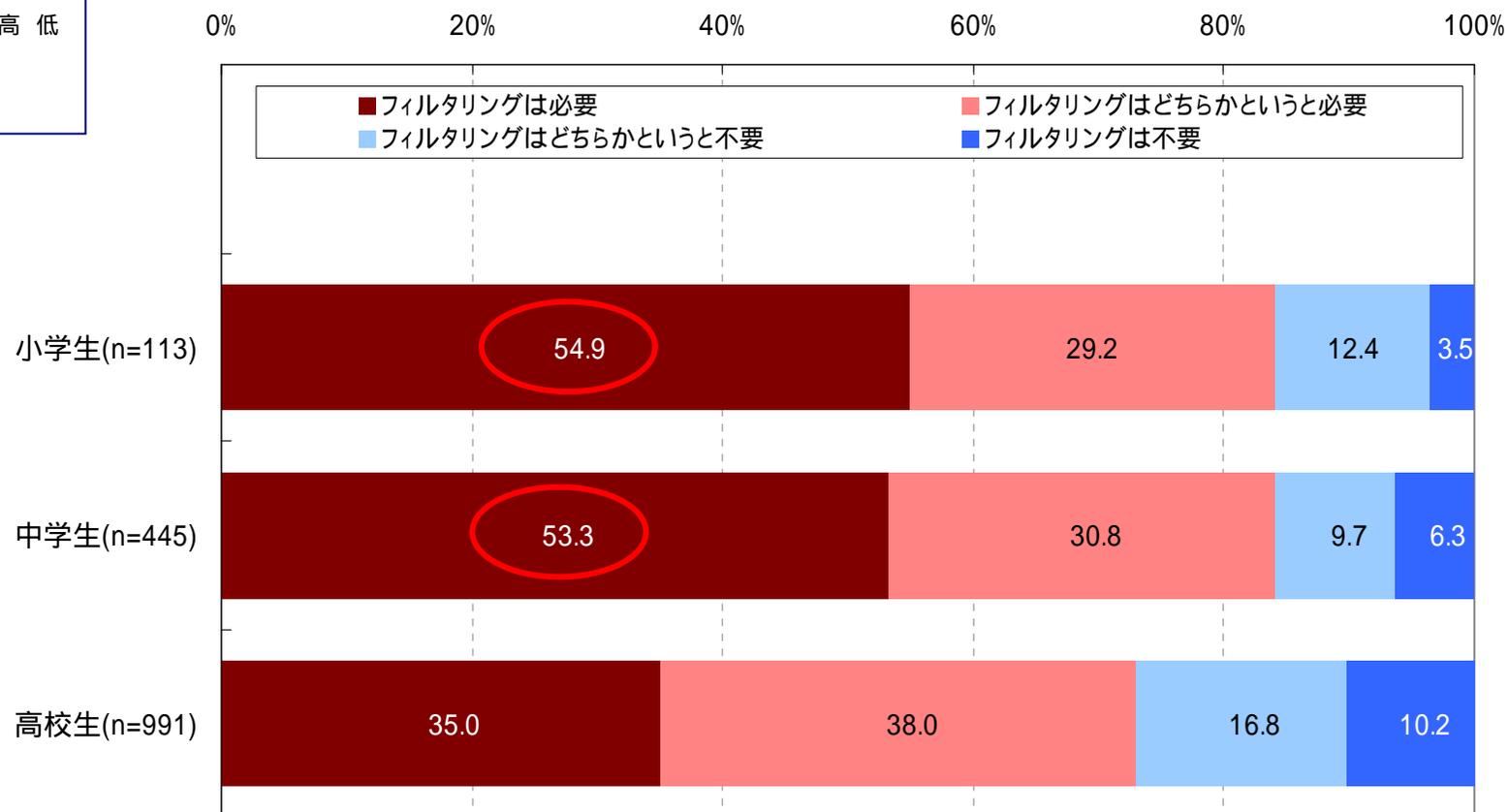


15. フィルタリングのニーズ –携帯電話利用者（子どもの学齢による差）

- 携帯電話のフィルタリングに対するニーズについて、子どもの学齢による差をみると、小学生と中学生で「必要」（前者54.9%、後者53.3%）の割合が有意に高く、中学生以下の子どもを持つ保護者でニーズが高い。

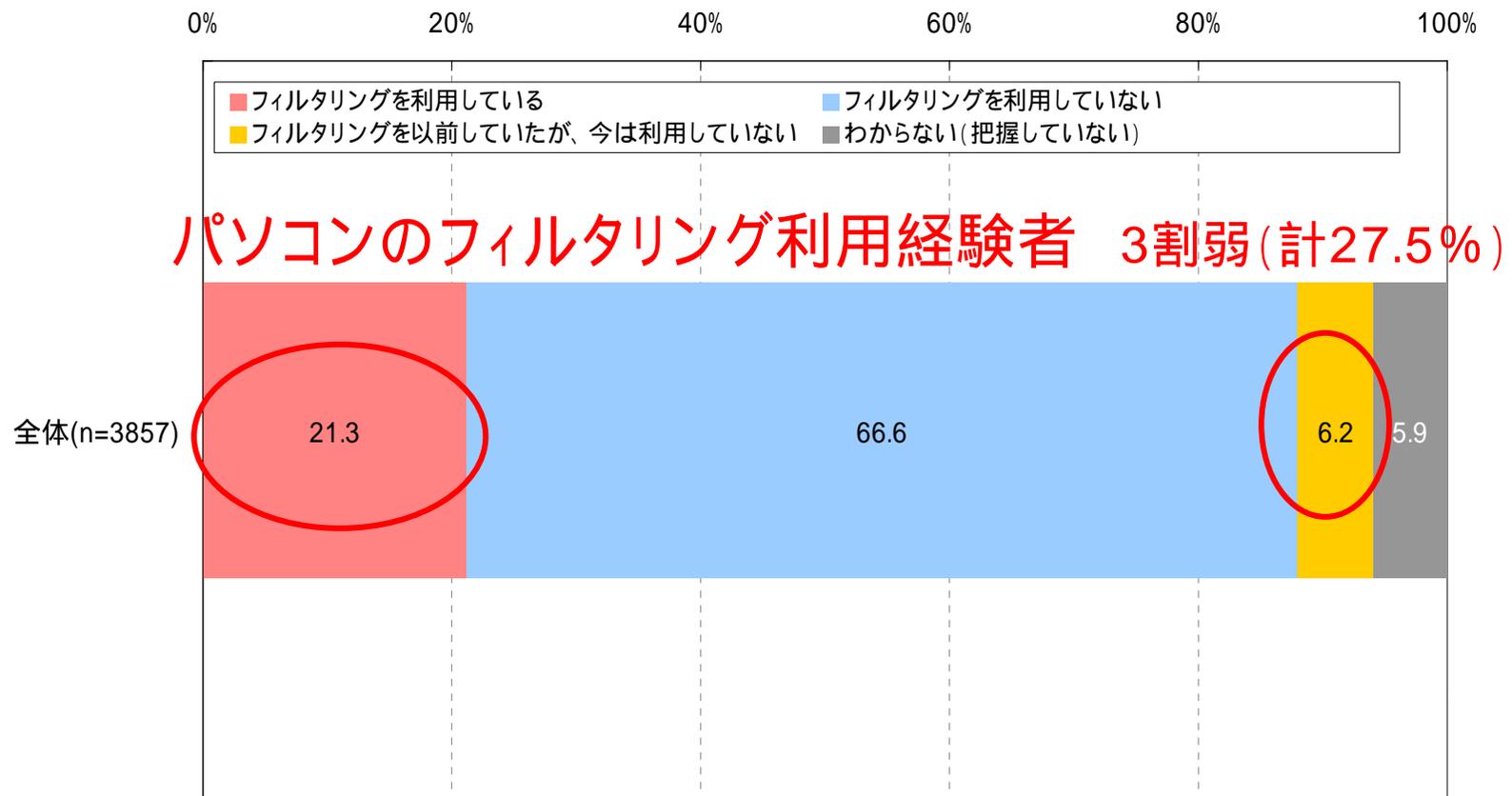
[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低
99%
95%
90%



16. フィルタリング利用率 –パソコン利用者

- 子どもが家庭のパソコンでインターネットを利用している人(3857人)のフィルタリング利用率は、約2割となっており、「利用している」(21.3%)が「利用していない」(66.6%)を下回る結果となっている。
- 「以前していたが、今は利用していない」(6.2%)とあわせると、フィルタリング経験率は3割弱(27.5%)となる。

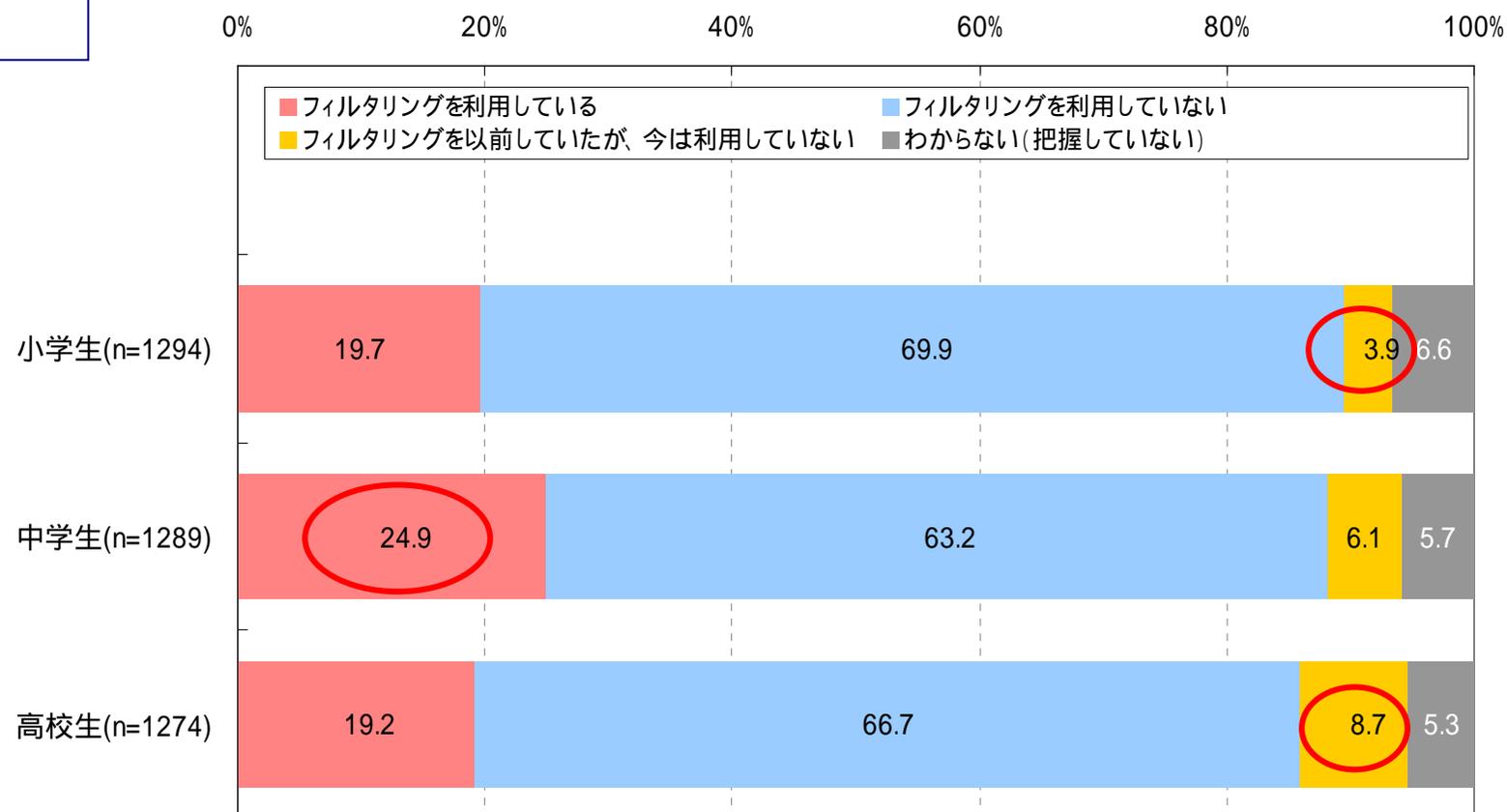


17. フィルタリング利用率 –パソコン利用者（子どもの学齢による差）

- 中学生で「利用している」の割合が有意に高い(24.9%)。
- 一方、「以前していたが、今は利用していない」の割合は、高校生で有意に高い(8.7%)。

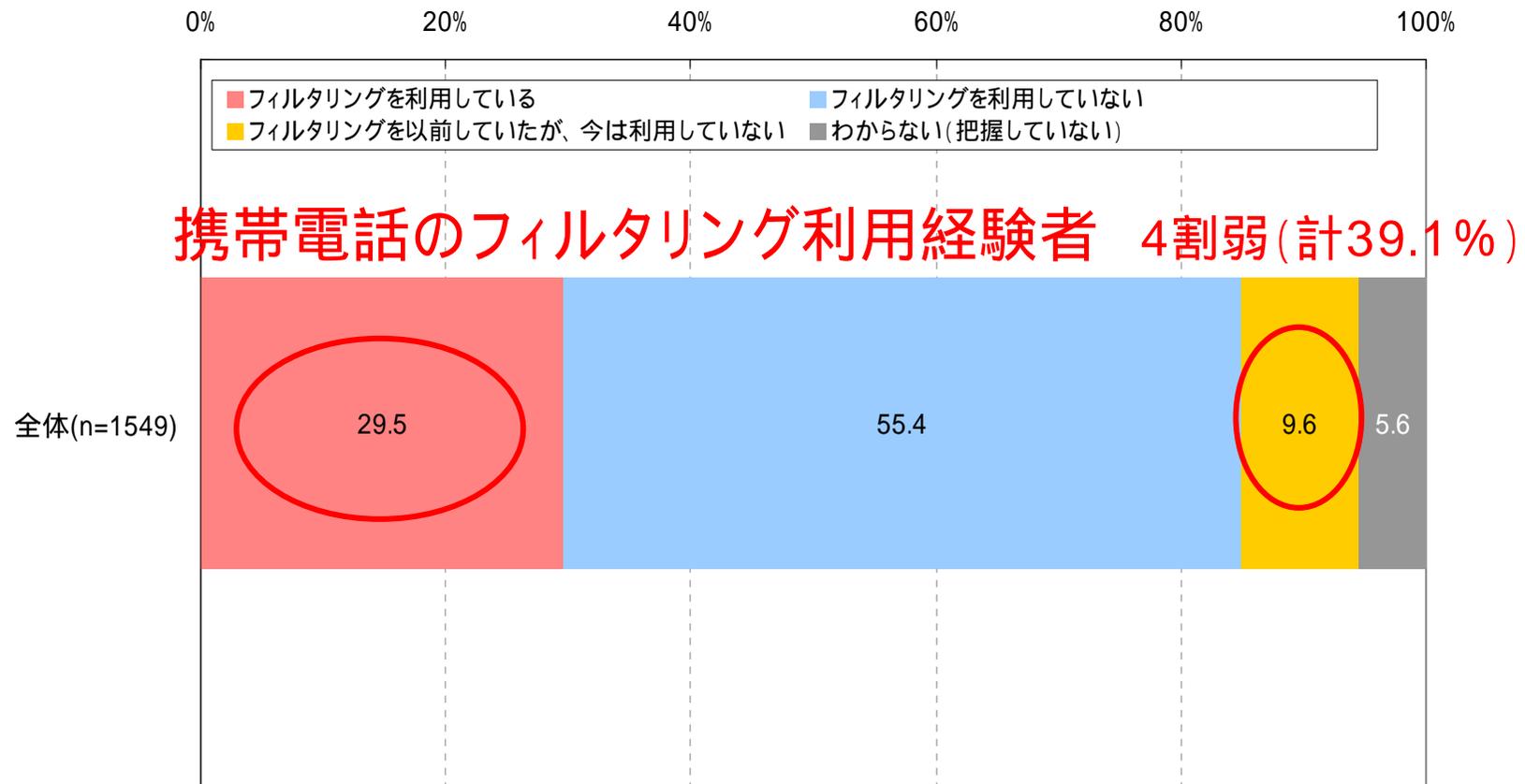
[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低
99%
95%
90%



18. フィルタリング利用率 –携帯電話利用者

- 子どもが携帯電話でインターネットを利用している人(1549人)のフィルタリング利用率は、約3割となっており、パソコンでの利用率(21.3%)よりも高い結果となっている。
- 「以前していたが、今は利用していない」(9.6%)とあわせると、フィルタリング経験率は4割弱(39.1%)となり、こちらもパソコンでの経験率(27.5%)より高い。

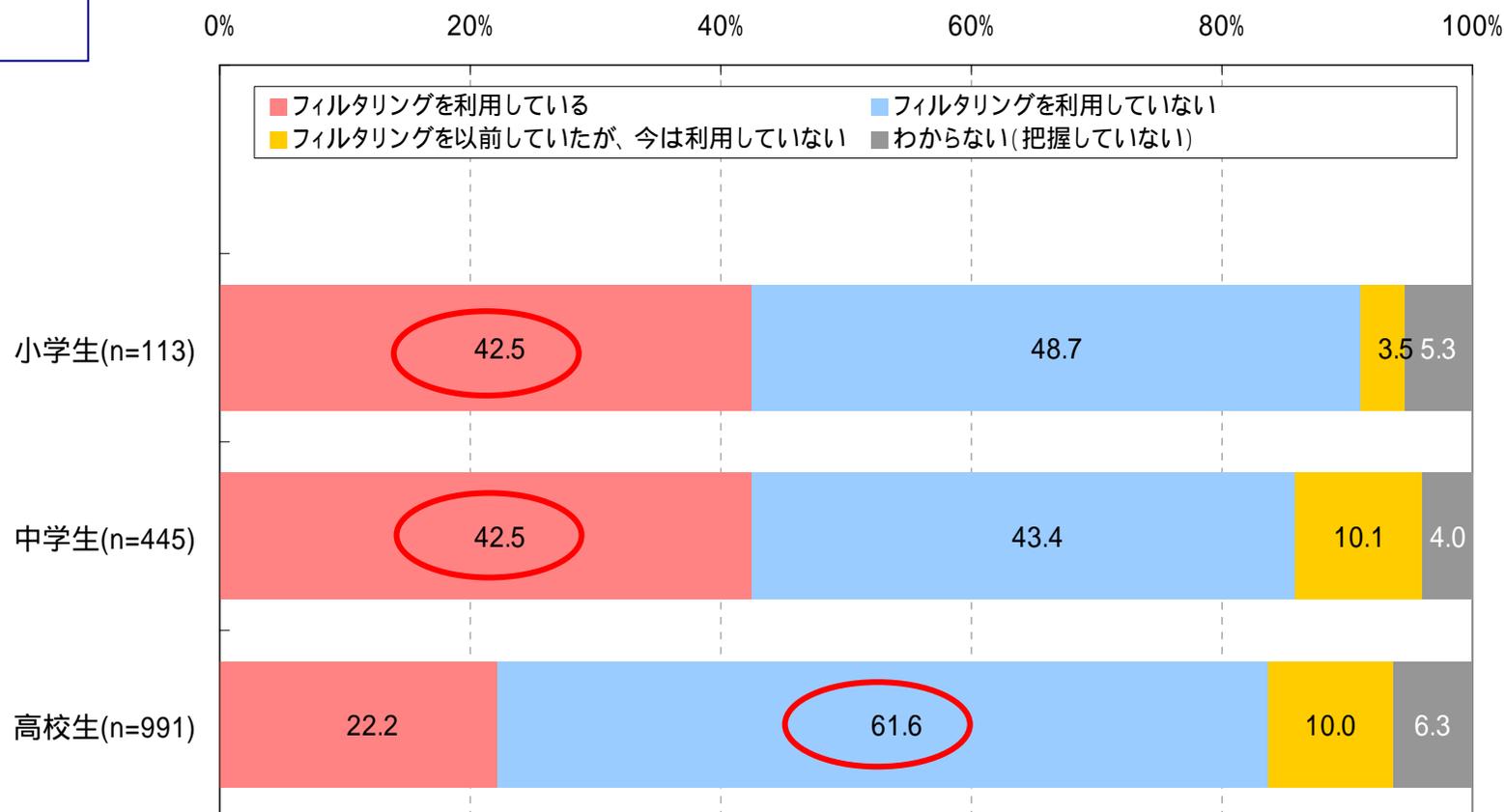


19. フィルタリング利用率 –携帯電話利用者 (子どもの学齢による差)

- 携帯電話でのフィルタリング利用率について、子どもの学齢による差をみると、小学生と中学生で「利用している」(前者、後者ともに42.5%)の割合が有意に高い。
- 一方、「利用していない」の割合は、高校生で有意に高い(61.6%)。

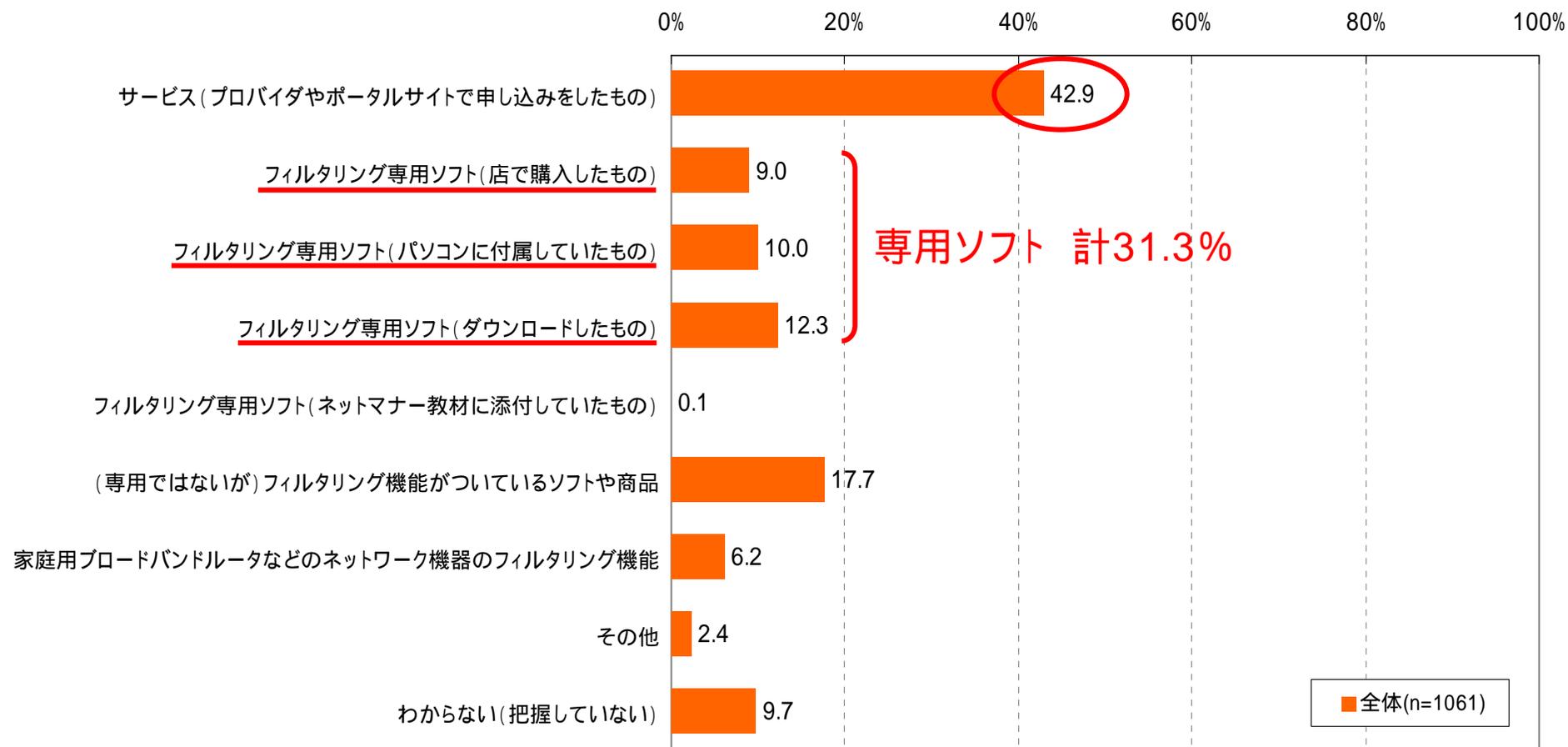
[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低
99%
95%
90%



20. 家庭のパソコンで利用しているフィルタリングツール

- 家庭のパソコンでのフィルタリング利用経験者(1061人)が利用している(していた)フィルタリングツールでは、最も回答が多かったのは「プロバイダやポータルサイトのサービス」(42.9%)であり、ネット上のサービスを利用する人が大半を占めている。
- 専用ソフトもあわせて3割強に達し、プロバイダやポータルサイトのサービスに次ぐ利用率である。



21. 家庭のパソコンで利用しているフィルタリングツール (保護者のインターネットリテラシーによる差)

- 保護者のインターネットリテラシーによる差をみると、フィルタリング利用者のうちリテラシーが高いグループ(153人)では、専用ソフトがあわせて4割半ばに達し、「プロバイダやポータルサイトのサービス」(37.3%)を上回る。
インターネットリテラシーの区分については次項を参照。

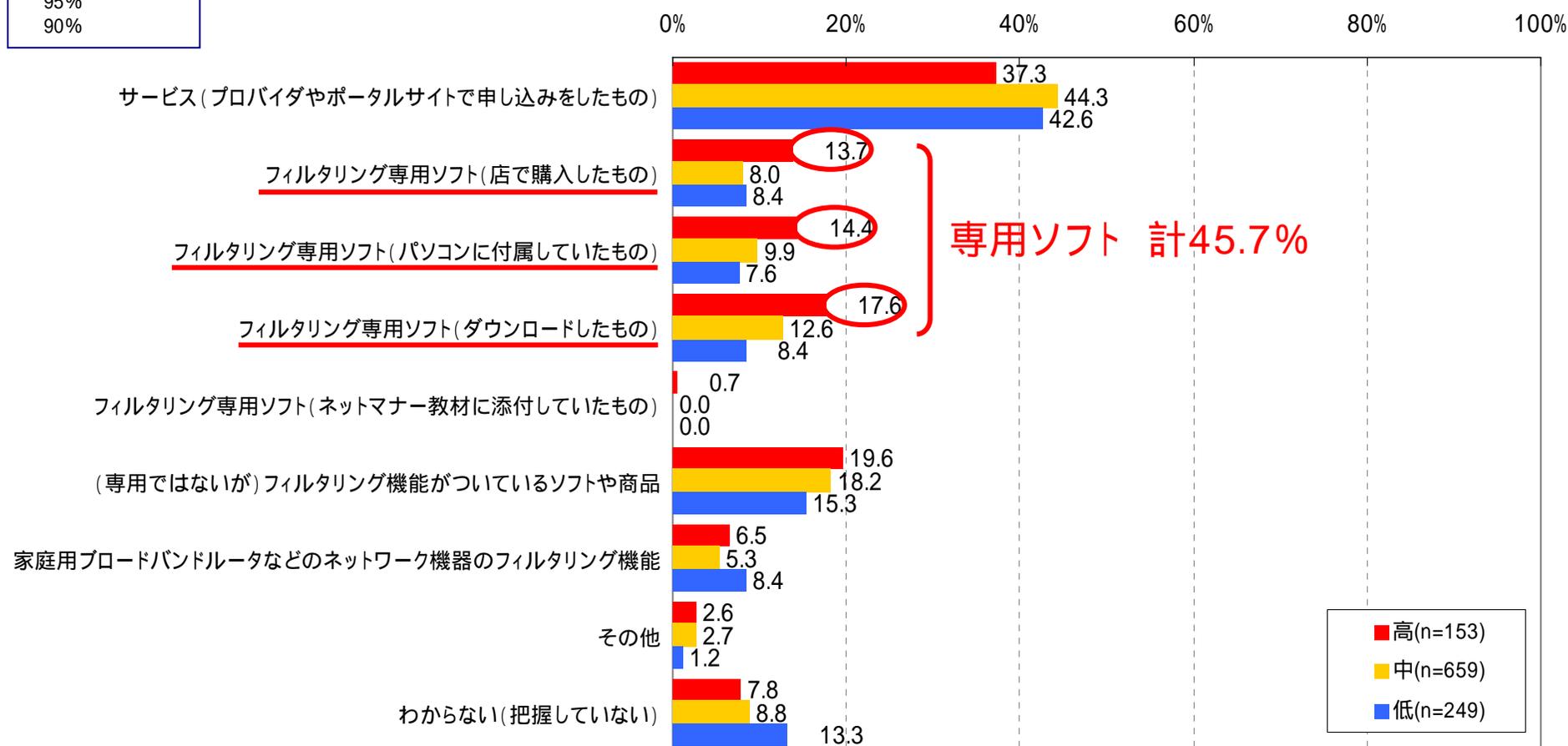
[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低

99%

95%

90%



(参考) インターネットリテラシーの区分

- 保護者のインターネットリテラシーについて、下記表のとおり、設問14-1: ブログ・SNS・掲示板の閲覧頻度、14-3: ブログ・SNS・掲示板の開設 / 運営頻度を基準として、回答者3960人を区分けした。

(設問14-1)
ブログ・SNS・掲示板の
閲覧頻度

	ほとんど毎日	週に3~4回	週に1~2回以下	行っていない
(設問14-2) ブログ・SNS・掲示板の 開設 / 運営頻度	ほとんど毎日	リテラシー 高 (516人)		リテラシー 低 (1093人)
	週に3~4回			
	週に1~2回以下	リテラシー 中 (2351人)		
	行っていない			

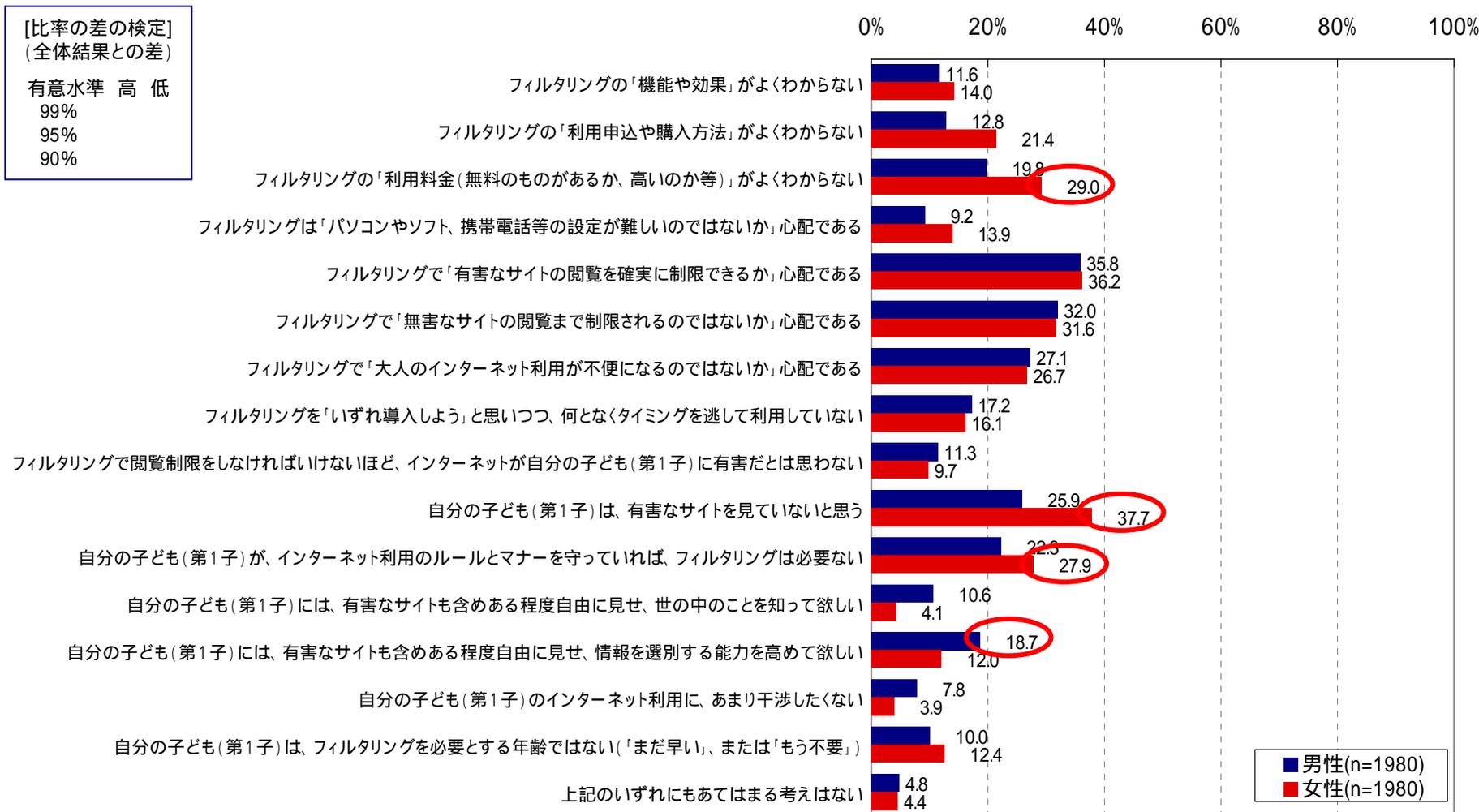
22. 子どものネット利用、フィルタリングに関する意識

- フィルタリングのイメージ」や「子どものインターネット利用」に対する考えを聞いたところ（設問8）、回答の多かった順に、「フィルタリングで『有害なサイトの閲覧を確実に制限できるか』心配である」（36.0%）、「フィルタリングで『無害なサイトの閲覧まで制限されるのではないか』心配である」、「自分の子どもは有害なサイトを見ていないと思う」（ともに31.8%）、「フィルタリングで『大人のインターネット利用が不便になるのではないか』心配である」（26.9%）、「自分の子どもが、インターネット利用のルールとマナーを守っていれば、フィルタリングは必要ない」（25.1%）となっている。



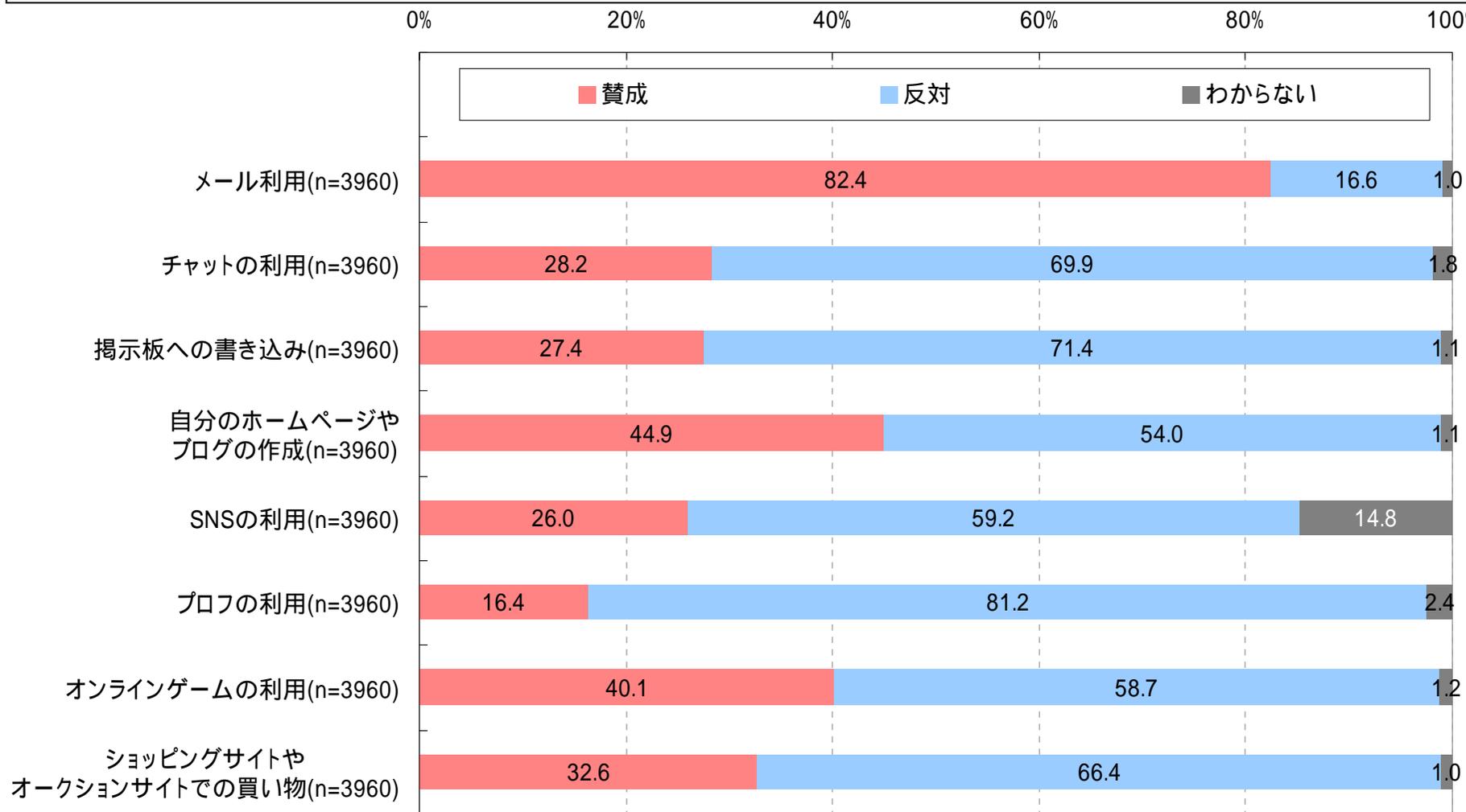
23. 子どものネット利用、フィルタリングに関する意識（保護者の男女差）

- 保護者の男女差をみると、男性では「自分の子どもには、有害なサイトも含めある程度自由に見せ、情報を選別する能力を高めて欲しい」(18.7%)が有意に高く、女性では、「自分の子どもは、有害なサイトを見ていないと思う」(37.7%)、「フィルタリングの『利用料金』がよくわからない」(29.0%)、「自分の子どもが、インターネット利用のルールとマナーを守っていれば、フィルタリングは必要ない」(27.9%)などが有意に高い結果となった。



24. 子どものネット利用に対する賛否

- 回答者全員に子どものネット利用に対する賛否をたずねたところ、メール利用については保護者の8割以上が「賛成」と回答しているが、他のサービスの利用に対しては「反対」が過半数を占める。
- 「反対」が多かったものは、順に「プロフの利用」(81.2%)、「SNSの利用」(26.0%)、「掲示板への書き込み」(27.4%)、「チャットの利用」(28.2%)となっており、不特定多数とやり取りをしたり、個人情報を公開するようなサービスを子どもが利用することに慎重な姿勢がみられる。

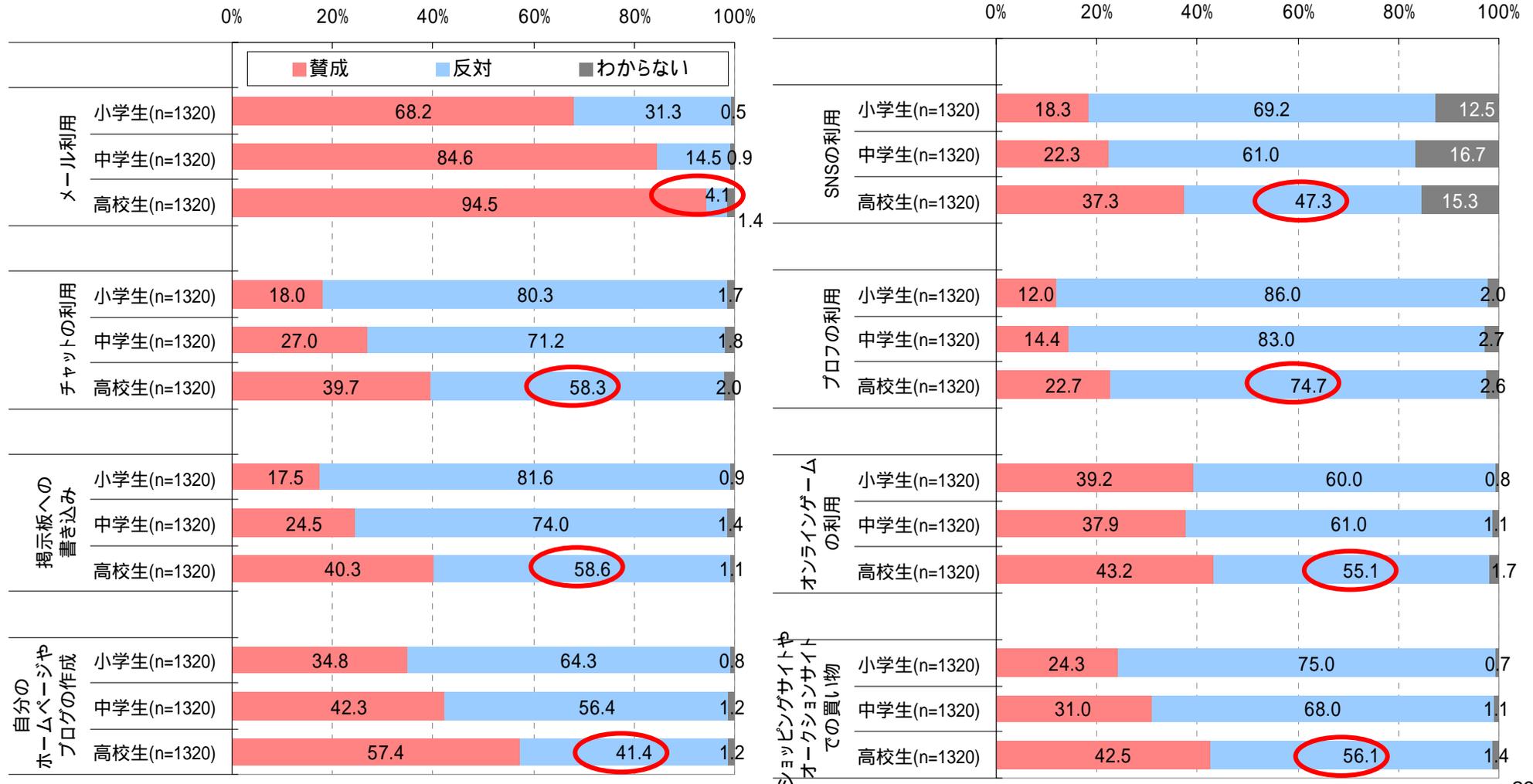


「賛成」「どちらかという賛成」を取りまとめて『賛成』とし、「反対」「どちらかという反対」を取りまとめて『反対』とした
Copyright (C) 2008-2009 Internet Association Japan

25. 子どものネット利用に対する賛否（子どもの学齢による差）

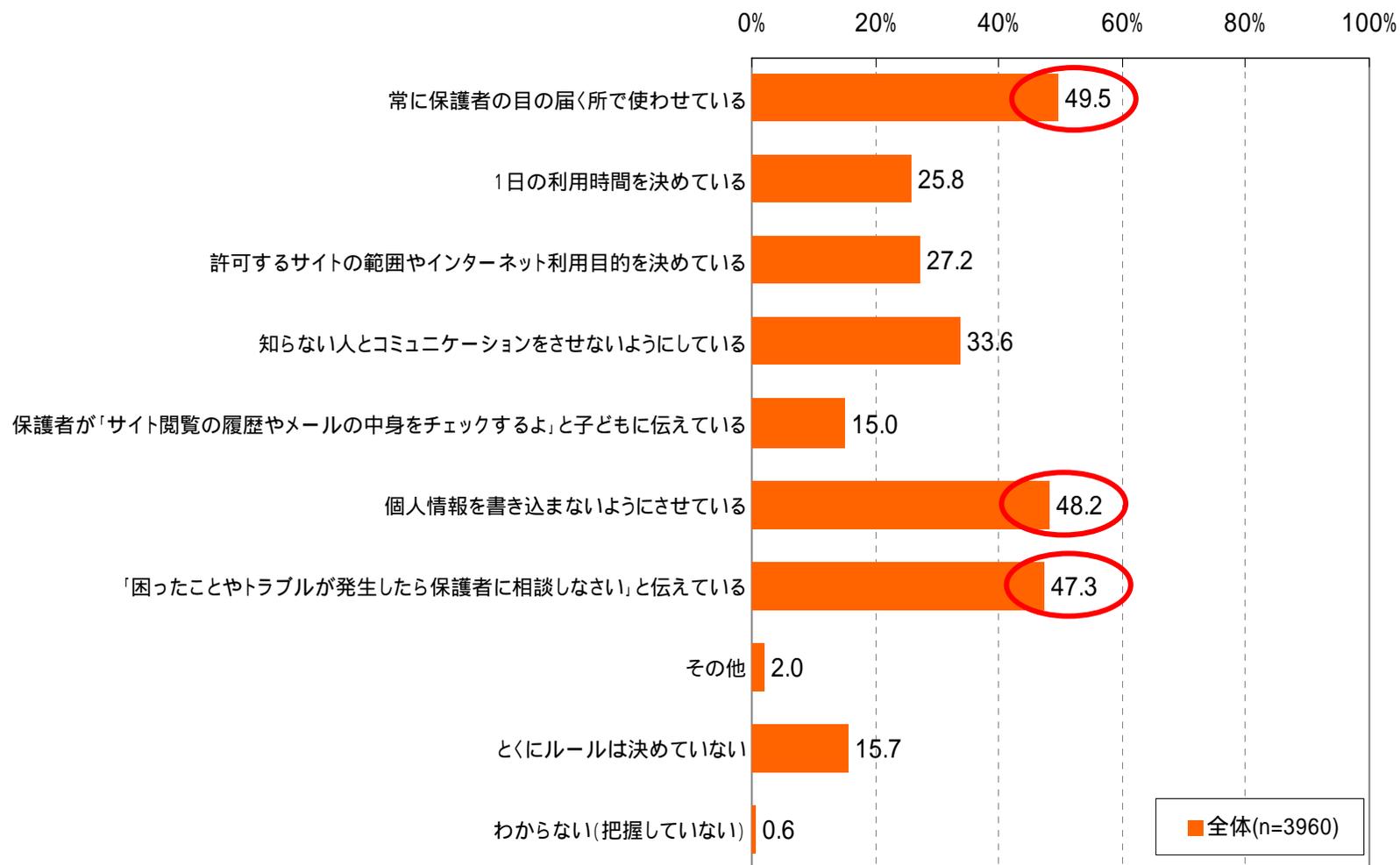
- ネット利用に対する保護者の賛否を、子どもの学齢による差をみると、おおむねどの項目も学齢が上がるほど「反対」が少なくなる傾向にある。
- 特に高校生は、すべての項目で「反対」が有意に低く、ある程度は許容するという保護者が多い。

[比率の差の検定]
(全体結果との差)
有意水準 高 低
99%
95%
90%



26. 子どもに守らせている「家庭でのネット利用ルール」

- 家庭で決めているネット利用ルールで最も回答が多かったのは、「常に保護者の目の届く所で使わせている」(49.5%)、以下「個人情報を書き込まないようにさせている」(48.2%)、「『困ったことやトラブルが発生したら保護者に相談しなさい』と伝えている」(47.3%)が続いている。

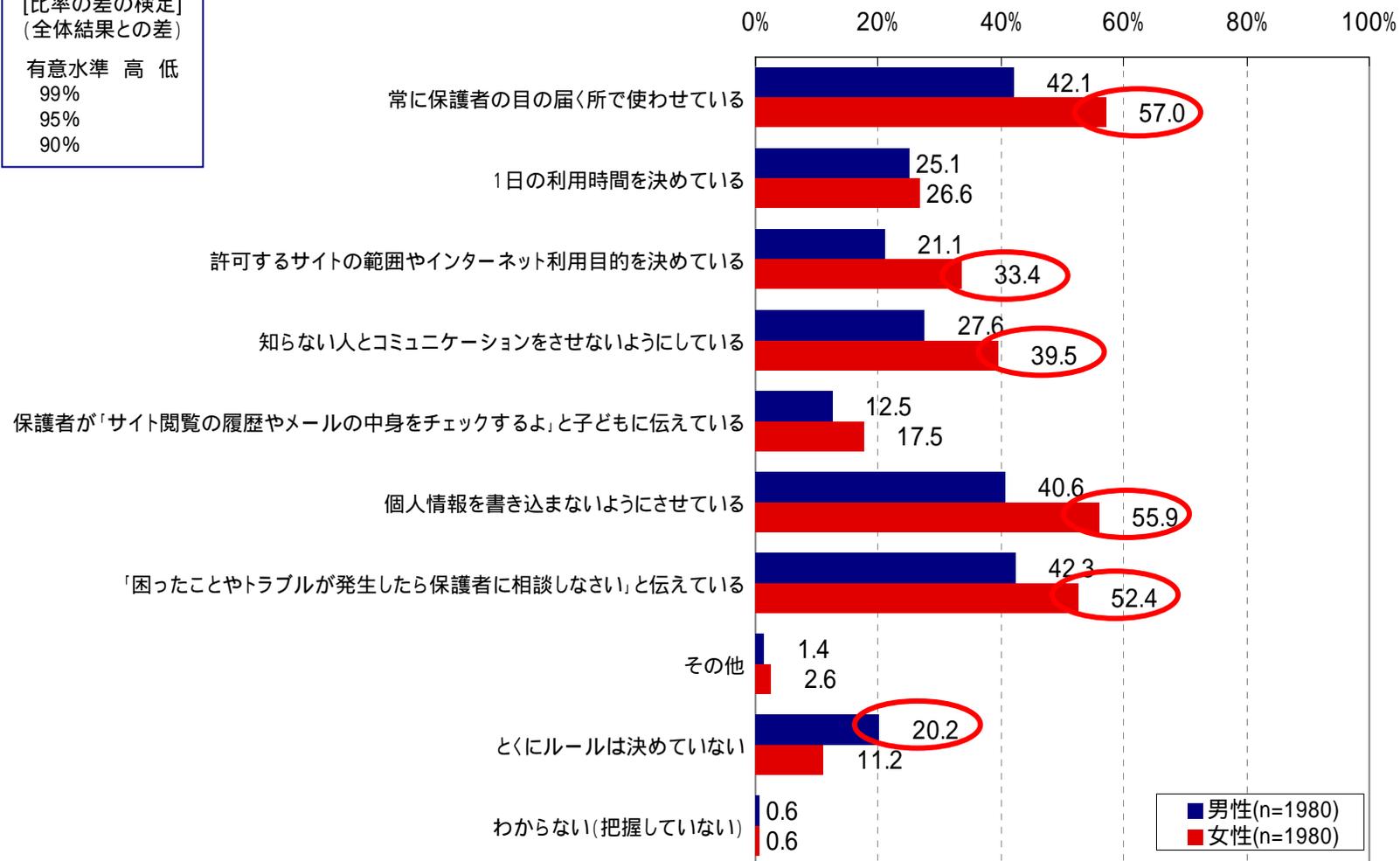


27. 子どもに守らせている「家庭でのネット利用ルール」(保護者の男女差)

- ネット利用のルールについて、保護者の男女差をみると、なんらかのルールを決めている割合は女性のほうが有意に高く、特に「常に保護者の目の届く所で使わせている」、「個人情報を書き込まないようにさせている」、「『困ったことやトラブルが発生したら保護者に相談しなさい』と伝えている」、「知らない人とコミュニケーションさせないようにしている」、「許可するサイトの範囲やインターネット利用目的を決めている」が男性を大きく上回る。

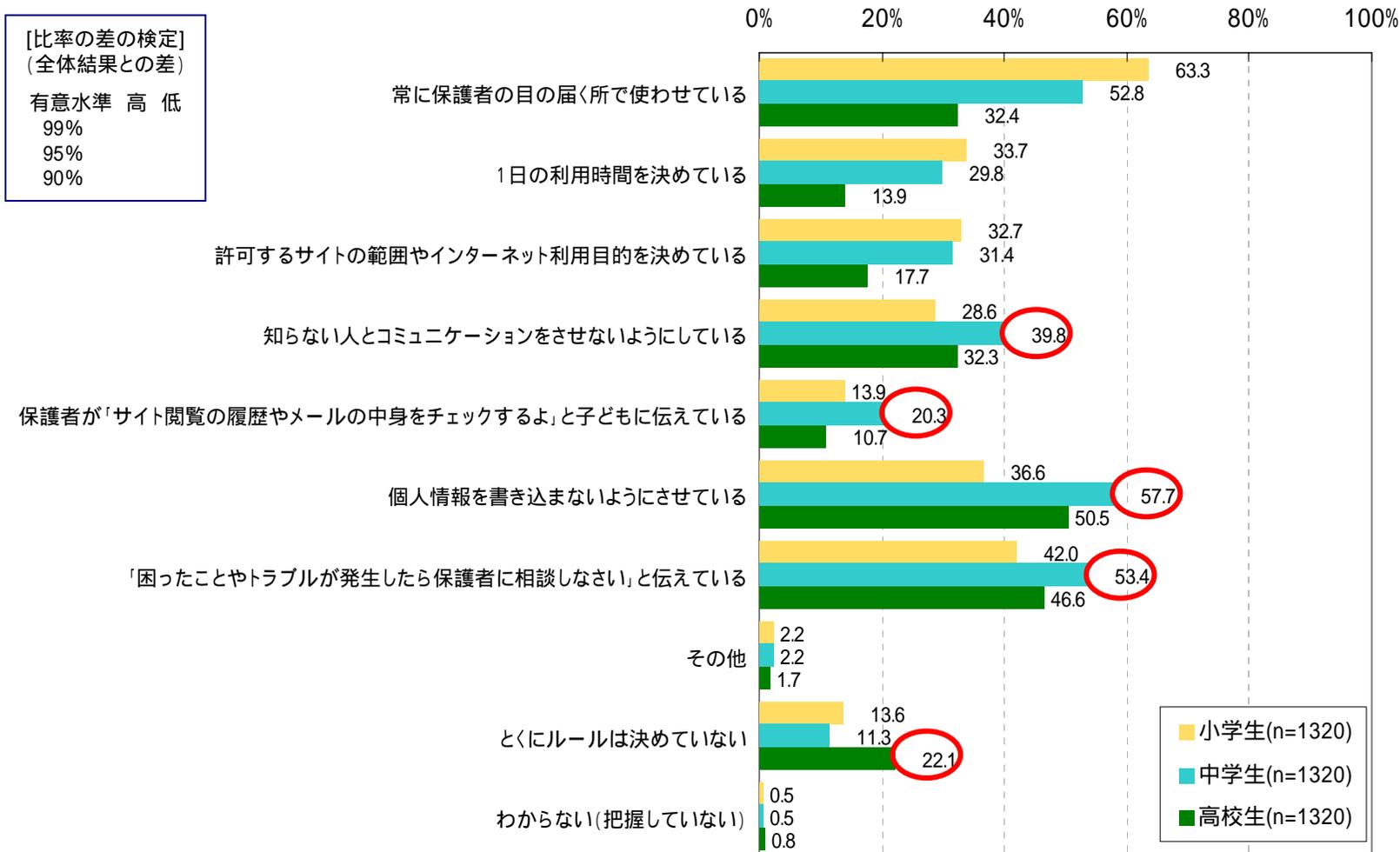
[比率の差の検定]
(全体結果との差)

有意水準 高 低
99%
95%
90%



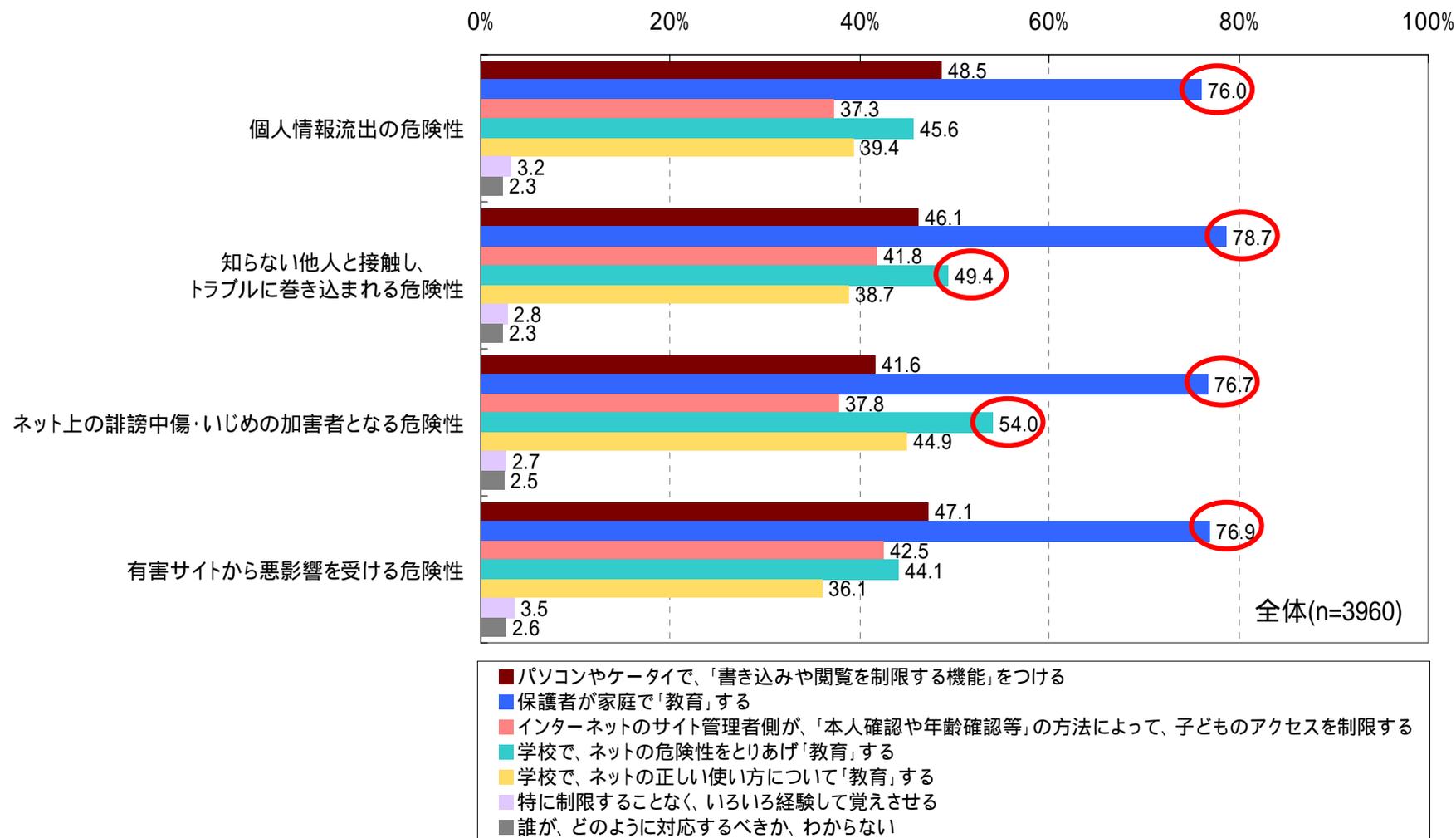
28. 子どもに守らせている「家庭でのネット利用ルール」(子どもの学齢による差)

- 子どもの学齢による差をみると、なんらかのルール下で利用している割合は小学生・中学生で有意に高い傾向があり、「常に保護者の目の届く所で使わせている」、「1日の利用時間を決めている」、「許可するサイトの範囲やインターネット利用目的を決めている」の割合が高校生を大きく上回っている。
- 小学生では保護者の監視下での利用が多いが、中学生では知らない人とのコミュニケーションや個人情報の書き込み、履歴チェック、トラブル時の対応などでルールや制限を設けている割合が高い。
- 高校生では、「とくにルールは決めていない」が有意に高く、保護者の容認傾向がみられる。



29. ネット上の危険を避けるための対策

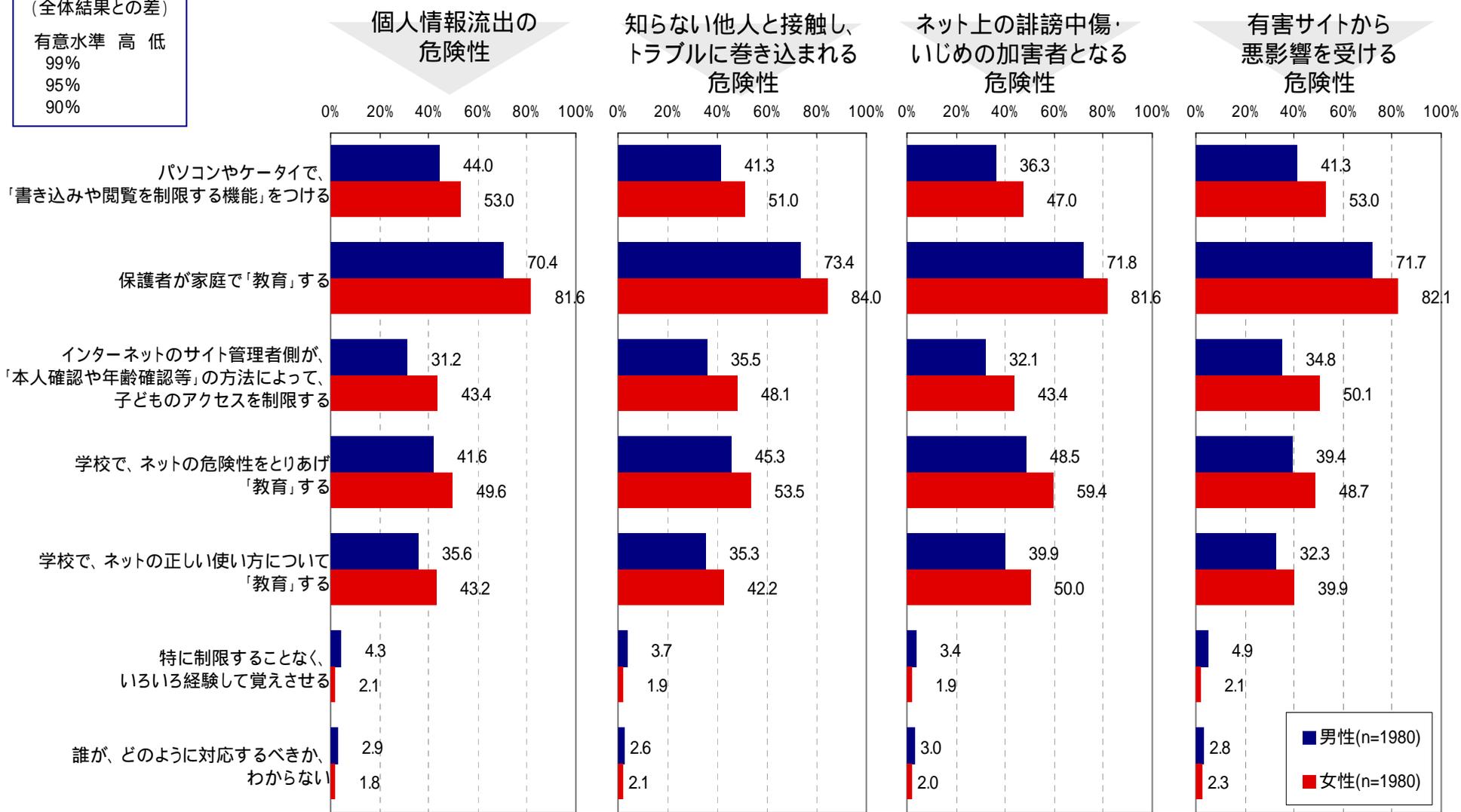
- ネット上で遭遇する危険性のあるトラブルを挙げて、それらを回避するための対策を聞いたところ、どの危険に対しても「保護者が家庭で『教育』する」が顕著に高く、保護者の多くは、ネット利用に関する教育や指導は家庭で責任を持って行うべきだと考えている。



30. ネット上の危険を避けるための対策（保護者の男女差）

- 次に、保護者の男女差をみると、危険回避のために何らかの対策を講じるべきと考える割合は女性のほうが有意に高い。

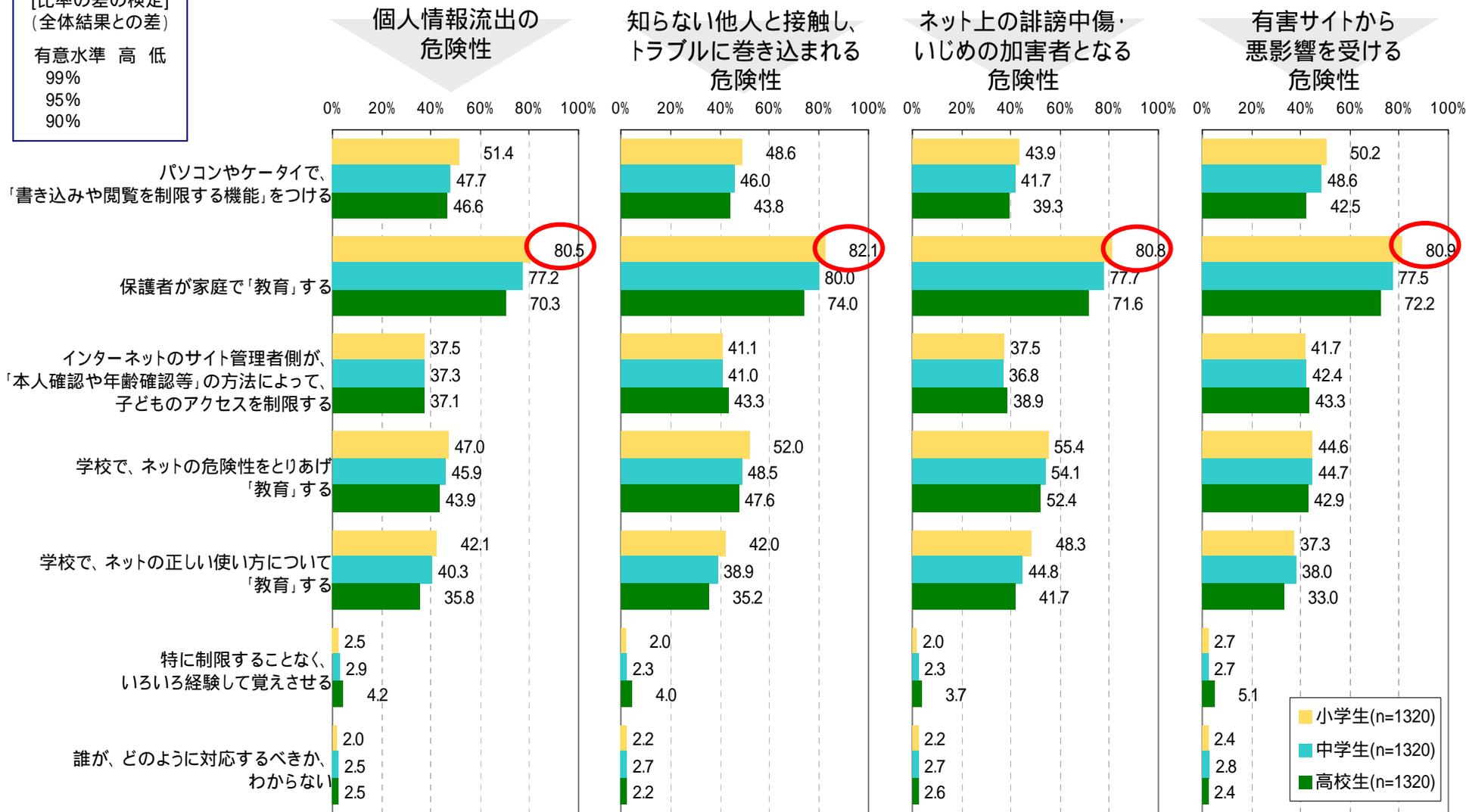
[比率の差の検定]
 (全体結果との差)
 有意水準 高 低
 99%
 95%
 90%



31. ネット上の危険を避けるための手段（子どもの学齢による差）

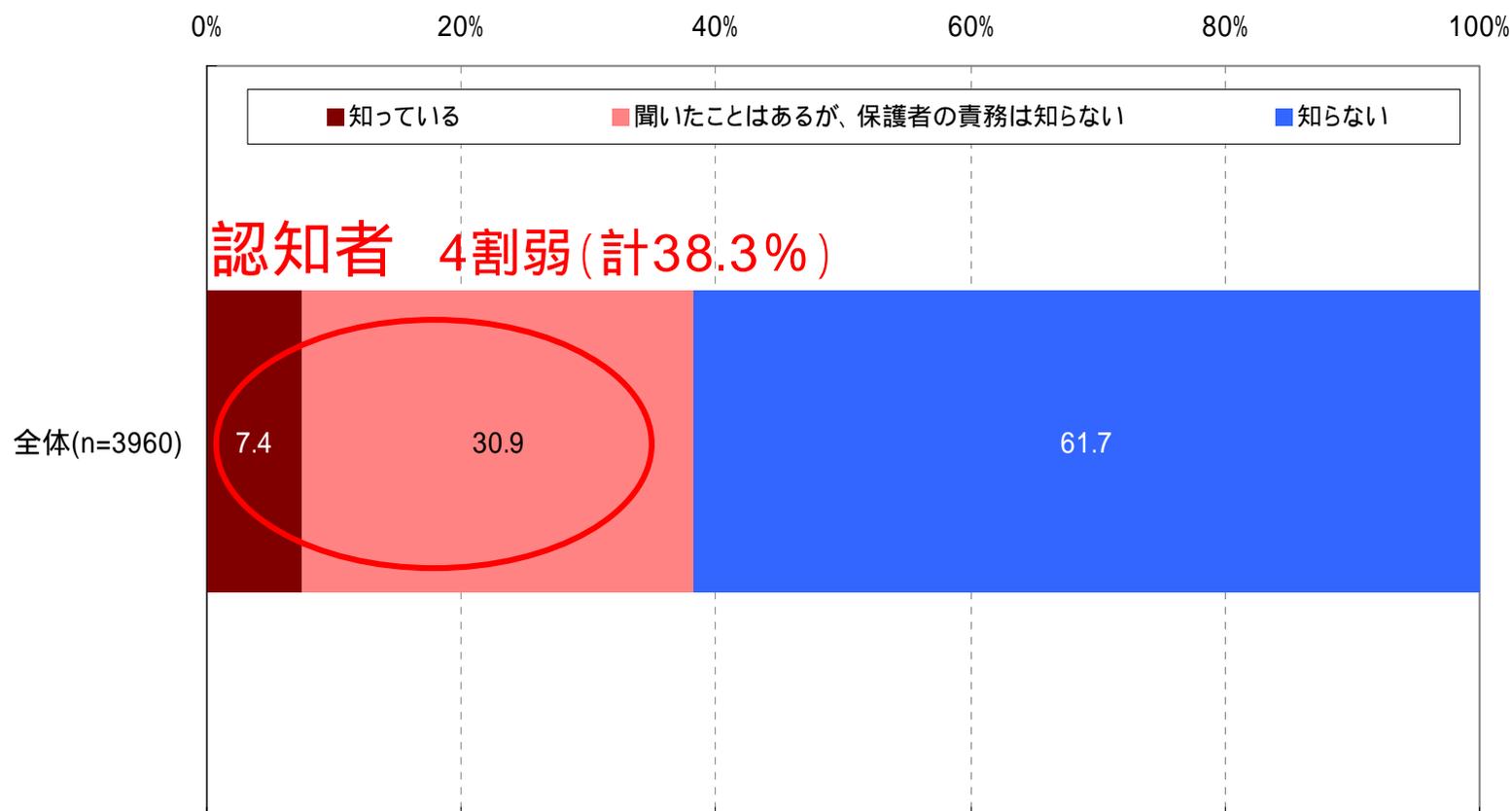
- 子どもの学齢による差をみると、危険回避のために何らかの対策を講じるべきと考える割合は全般的に学齢が小さいほど高い傾向がみられる。
- 特に小学生の保護者は、どの項目においても「保護者が家庭で『教育』する」が有意に高い。

[比率の差の検定]
(全体結果との差)
有意水準 高 低
99%
95%
90%



32. 「青少年ネット利用環境整備法」認知率

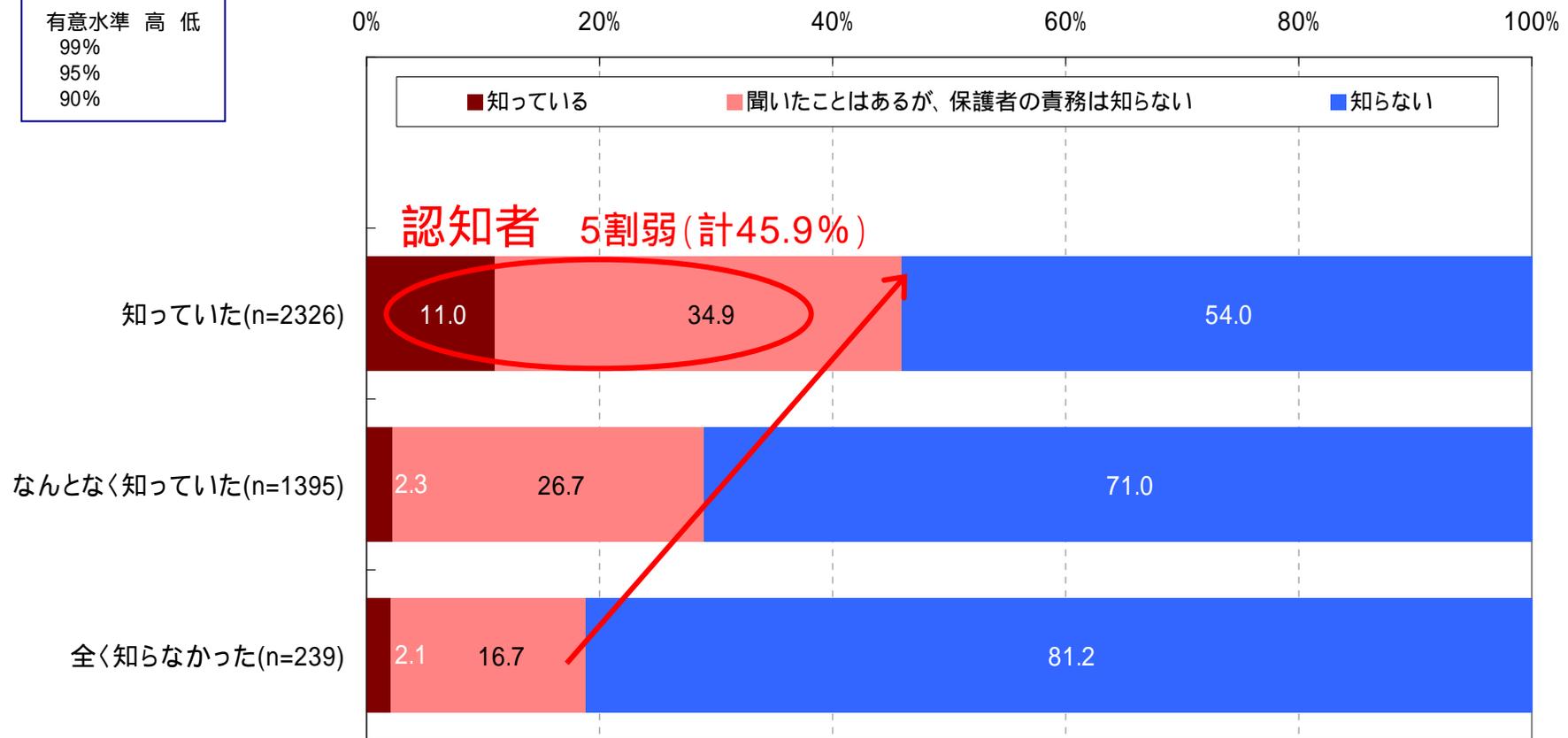
- 2008年6月に成立し、2009年4月1日から施行される「青少年ネット利用環境整備法」の認知率については、保護者の責務まで含めて「知っている」が7.4%と1割を下回る結果となった。
- 「聞いたことはあるが、保護者の責務は知らない」(30.9%)とあわせると、認知率は4割弱となるが、全体の6割強は「知らない」(61.7%)と回答している。



33. 「青少年ネット利用環境整備法」認知率（フィルタリング認知度による差）

- 「青少年ネット利用環境整備法」の認知率について、フィルタリング認知度による差をみると、フィルタリングの認知レベルが高いほど、「青少年ネット利用環境整備法」の認知率も高くなる傾向がみられる。
- フィルタリングを「知っていた」グループは保護者の責務を含めて「知っている」とする割合が11.0%と有意に高く、「聞いたことはあるが、保護者の責務は知らない」が34.9%とあわせた認知率が5割弱を占める。

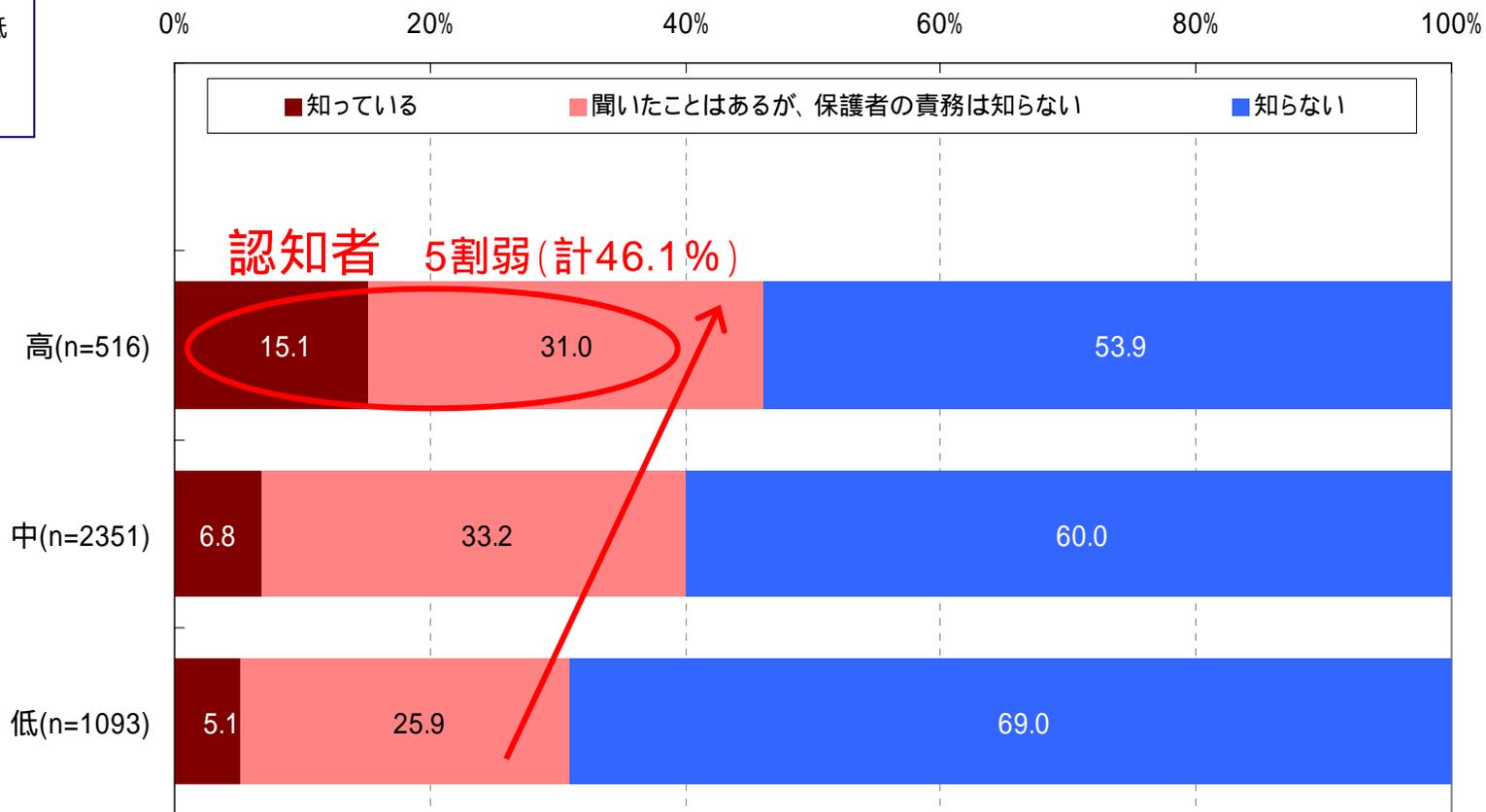
[比率の差の検定]
 (全体結果との差)
 有意水準 高 低
 99%
 95%
 90%



34. 「青少年ネット利用環境整備法」認知率（保護者のインターネットリテラシーによる差）

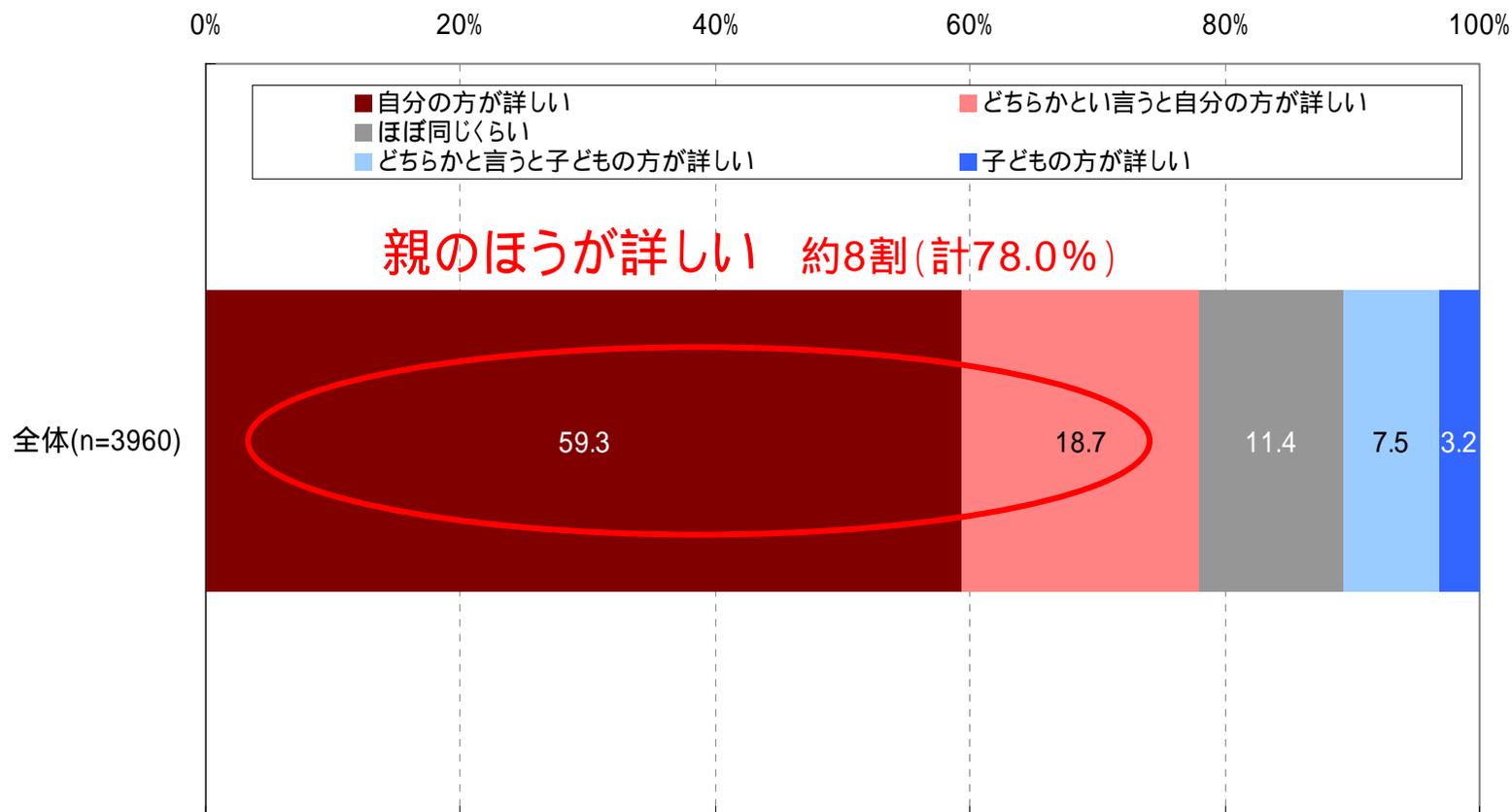
- 保護者のインターネットリテラシーによる差をみると、リテラシーが高い保護者ほど、「青少年ネット利用環境整備法」の認知率が高い。
- リテラシーの高いグループは保護者の責務を含めて「知っている」とする割合が15.1%と有意に高く、「聞いたことはあるが、保護者の責務は知らない」が31.0%とあわせた認知率が5割弱を占める。

[比率の差の検定]
 (全体結果との差)
 有意水準 高 低
 99%
 95%
 90%



35. パソコン・ネットに詳しいのはどちらか

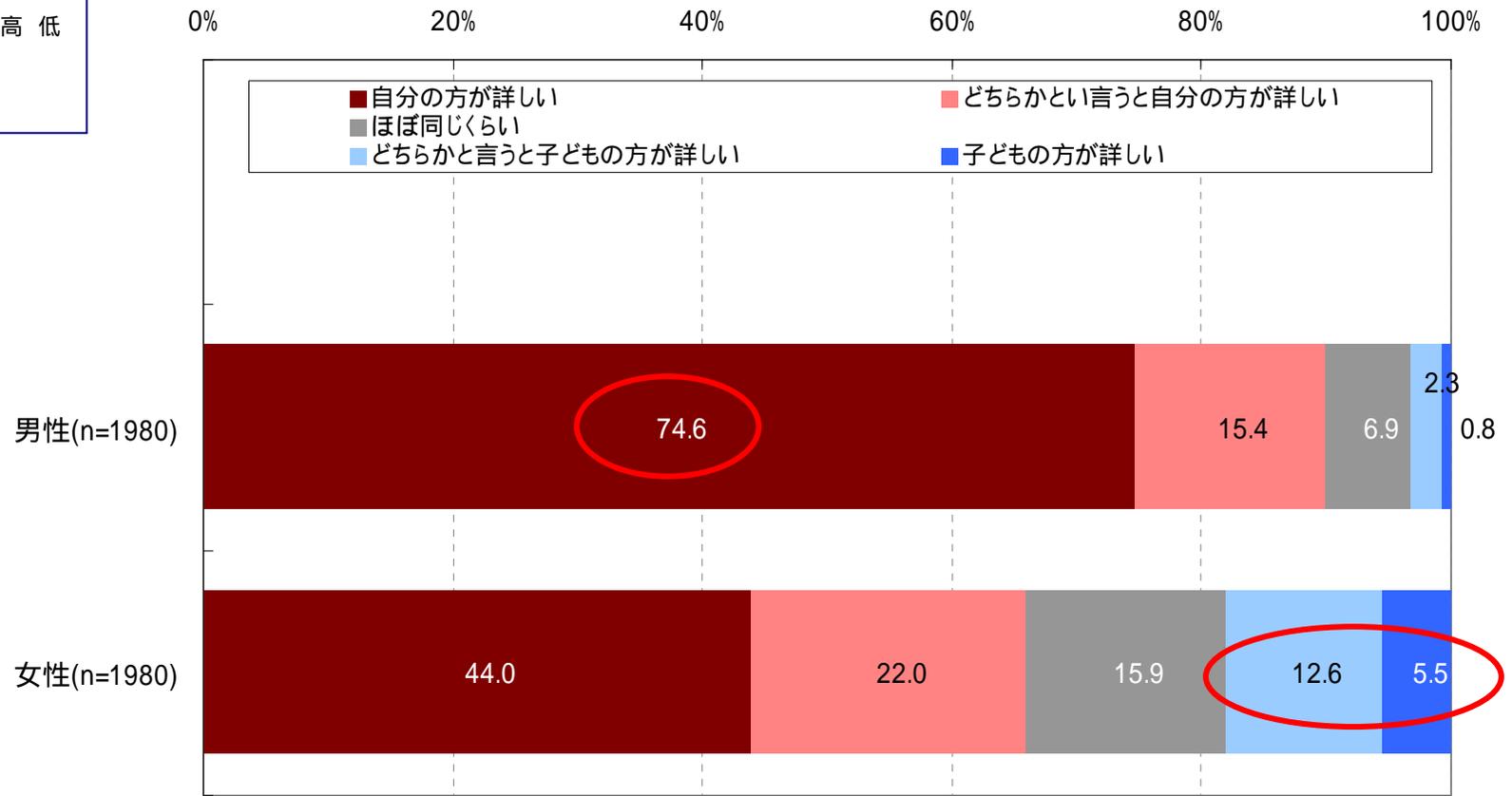
- 回答者全員にパソコンやインターネットに詳しいのは自分と子どものどちらかを聞いたところ、「自分のほうが詳しい」(59.3%)が約6割を占め、「どちらかと言うと自分のほうが詳しい」(18.7%)とあわせると、8割弱の保護者は自分のほうが詳しいと回答している。



36. パソコン・ネットに詳しいのはどちらか (保護者の男女差)

- 保護者の男女差をみると、男性は「自分のほうが詳しい」割合が有意に高く(74.6%)、女性では「子どものほうが詳しい」(12.6%)と「どちらかと言うと子どものほうが詳しい」(5.5%)が有意に高い。

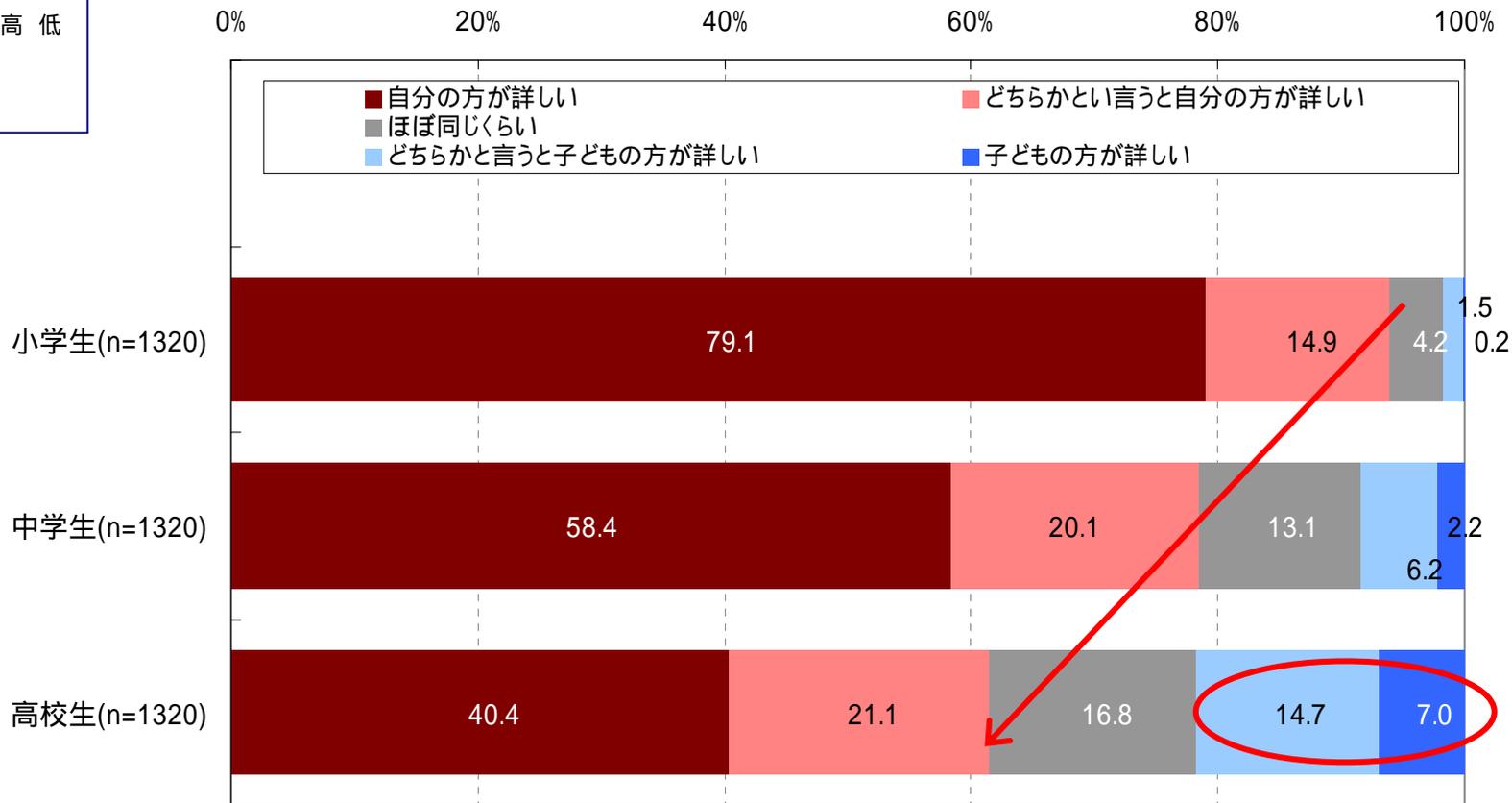
[比率の差の検定]
(全体結果との差)
有意水準 高 低
99%
95%
90%



37. パソコン・ネットに詳しいのはどちらか（子どもの学齢による差）

- 子どもの学齢による差をみると、学齢が上がるほど子どものほうが詳しい割合が高くなっており、小学生では親のほうが詳しい割合が9割を超えているのに対し、高校生では6割強に減少している。
- 高校生をみると、子どものほうが詳しいという回答が有意に高く、親よりも子どもが詳しいケースは2割強存在する。

[比率の差の検定]
 (全体結果との差)
 有意水準 高 低
 99%
 95%
 90%



調査画面

お子様に関するアンケート【予備調査】

質問文と注意書きにしたがって上から順にお答えください。
 「★」印のついた質問は必ずお答えください。

※この「調査設定確認画面」内のページ・質問設定欄、青色の選択肢番号は、アンケート回答画面では表示されません。
 ※条件式で使用されている「!=」は「(その選択肢を)選択していないこと」を表します。
 例)「Q1 != 1」は、「Q1で選択肢『1』を選択していない人」が対象です。

【ページ1設定】 ・画面分岐条件： 全員

【Q1設定】 ・必須回答

★【Q1】 あなたの性別をお答えください。

- 1. 男性
- 2. 女性

【Q2設定】 ・必須回答

★【Q2】 お子さま(第1子:一番上のお子様)の学年と性別をお答えください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 子どもはいない | <input type="radio"/> 10. 中学1年生・男子 |
| <input type="radio"/> 2. 小学3年生以下・男子 | <input type="radio"/> 11. 中学1年生・女子 |
| <input type="radio"/> 3. 小学3年生以下・女子 | <input type="radio"/> 12. 中学2年生・男子 |
| <input type="radio"/> 4. 小学4年生・男子 | <input type="radio"/> 13. 中学2年生・女子 |
| <input type="radio"/> 5. 小学4年生・女子 | <input type="radio"/> 14. 中学3年生・男子 |
| <input type="radio"/> 6. 小学5年生・男子 | <input type="radio"/> 15. 中学3年生・女子 |
| <input type="radio"/> 7. 小学5年生・女子 | <input type="radio"/> 16. 高校1年生・男子 |
| <input type="radio"/> 8. 小学6年生・男子 | <input type="radio"/> 17. 高校1年生・女子 |
| <input type="radio"/> 9. 小学6年生・女子 | <input type="radio"/> 18. 高校2年生・男子 |
| | <input type="radio"/> 19. 高校2年生・女子 |
| | <input type="radio"/> 20. 高校3年生・男子 |
| | <input type="radio"/> 21. 高校3年生・女子 |
| | <input type="radio"/> 22. その他・男子 |
| | <input type="radio"/> 23. その他・女子 |

【ページ2設定】 ・画面分岐条件： Q2 = 4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21

【Q3設定】 ・必須回答

★【Q3】 あなたのご家庭では、お子さま(第1子)に、パソコン、携帯電話、ゲーム機、テレビ機の利用を許可していますか？以下の端末それぞれについて、1つだけお答えください。

	1. 許可している	2. 許可していない	3. わからない/把握していない
★(1)家庭のパソコン(家族共用も含む)	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
★(2)携帯電話	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
★(3)ゲーム機	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
★(4)テレビ機	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【ページ3設定】 ・画面分岐条件： Q3M001 = 1 or Q3M002 = 1 or Q3M003 = 1 or Q3M004 = 1

【Q4設定】 ・必須回答
 ・Q3の回答(1)を項目として繰込表示

★【Q4】 以下に表示されている端末(パソコン、携帯電話、ゲーム機、テレビ機など)から、お子さま(第1子)はインターネットを利用していますか？端末それぞれについて、あてはまるものを1つだけ選んでください。

	1. インターネットを利用している	2. インターネットを利用していない	3. わからない/把握していない
★(1)家庭のパソコン(家族共用も含む)	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
★(2)携帯電話	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
★(3)ゲーム機	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
★(4)テレビ機	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

調査画面

お子さまのインターネット利用に関するアンケート【本調査】

質問文と注意書きにしたがって上から順にお答えください。
「*」印のついた質問は必ずお答えください。

この調査はおさまがインターネットで目にする有害情報に関する保護者様の意識調査となります。そのため一部不適切な言葉が含まれる場合がございますが、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

※この「調査設定確認画面」内のページ・質問設定欄、青色の選択肢番号は、アンケート回答画面では表示されません。
※条件式で使用されている「081201102701」は「【Yahoo!リサーチ BASIC】子どものインターネット利用に関する調査【予備調査】【Y!RM】【Y!LM】」を表します。
※条件式で使用されている「!」は「(その選択肢を)選択していないこと」を表します。
例)「Q1 != 1」は、「Q1で選択肢『1』を選択していない人」が対象です。

【ページ1設定】 ・画面分岐条件：全員

アンケートを始める前に、こちらをご覧ください。

●フィルタリングとは、

アダルトサイト・出会い系サイト・暴力的なサイトなどのインターネット上の有害と思われるホームページを、子どもに見せないようにする手段の一つです。携帯電話では、「有害サイトアクセス制限サービス」などの名称で、各携帯電話会社からサービスを提供しています。パソコンでは、ソフトウェアを購入してインストールするほか、プロバイダ等が提供しているサービスを申し込むことによって利用することができます。

【Q1設定】 ・必須回答

* 【Q1】 あなたはこのアンケートに回答されるまで、「フィルタリング」とは何かを知っていましたか？あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 1. 知っていた
- 2. なんとなく知っていた
- 3. 全く知らなかった

【ページ2設定】 ・画面分岐条件：Q1 = 1, 2

フィルタリングについて「知っていた」「なんとなく知っていた」と回答した方にお伺いします。

【Q2設定】 ・必須回答
・排他設定選択肢：Q2 = 7, 8

* 【Q2】 「フィルタリング」についての情報を、次にあげるメディアを通じて目にしたか、聞いたかありますか？あてはまるものをいくつでもお選びください。(複数回答可)

- 1. 新聞や雑誌の記事や広告
- 2. インターネットの記事や広告
- 3. TVやラジオの番組や広告
- 4. 紙のパンフレットやチラシ
- 5. 国や自治体の広報
- 6. 学校からの広報
- 7. (上記のいずれも)見たことがない
- 8. わからない(覚えていない)

【Q3設定】 ・必須回答
・排他設定選択肢：Q3 = 7, 8

* 【Q3】 「フィルタリング」について、次のような人から聞いたか、話題にのぼったりしたことがありますか？あてはまるものをいくつでもお選びください。(複数回答可)

- 1. 友人、知人、職場の同僚
- 2. 学校の先生
- 3. 子ども
- 4. 家族(子どもは除く)
- 5. 家電店などの店員
- 6. パソコン教室や講習会の先生
- 7. (上記のいずれの人からも)聞いたことがない
- 8. わからない(覚えていない)

調査画面

【ページ9設定】 画面分岐条件： 全員

【Q4設定】

- 表示条件：
 - Q4の項目1 081201102701 - Q4M001 = 1
 - Q4の項目2 081201102701 - Q4M002 = 1
 - Q4の項目3 081201102701 - Q4M003 = 1
 - Q4の項目4 081201102701 - Q4M004 = 1
- 必須回答

【Q4】 「フィルタリング」は、今現在、あなたのお子さま(第1子)にとって「必要」な道具だと思いますか？ 端末それぞれの利用について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

	1 ・フィルタリングは必要	2 ・フィルタリングはどちらかというとき必要	3 ・フィルタリングはどちらかというとき不要	4 ・フィルタリングは不要
* (1) 家庭のパソコン(家族共用も含む)	→ ○	○	○	○
* (2) 携帯電話	→ ○	○	○	○
* (3) ゲーム機	→ ○	○	○	○
* (4) テレビ機	→ ○	○	○	○

【Q5設定】

- 表示条件：
 - Q5の項目1 081201102701 - Q4M001 = 1
 - Q5の項目2 081201102701 - Q4M002 = 1
 - Q5の項目3 081201102701 - Q4M003 = 1
 - Q5の項目4 081201102701 - Q4M004 = 1
- 必須回答

【Q5】 お子さまが利用できる家庭のパソコンや携帯電話では、「フィルタリング」を利用して、お子さまが有害サイトを見られないようにしていますか？ 端末それぞれの利用について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

	1 ・フィルタリングを利用している	2 ・フィルタリングを利用していない	3 ・フィルタリングを以前していたが、今は利用していない	4 ・わからない/把握していない
* (1) 家庭のパソコン(家族共用も含む)	→ ○	○	○	○
* (2) 携帯電話	→ ○	○	○	○
* (3) ゲーム機	→ ○	○	○	○
* (4) テレビ機	→ ○	○	○	○

調査画面

【ページ4設定】 画面分岐条件： Q5M001 = 1,3

【Q6設定】
 ・必須回答
 ・排他設定選択数：Q6 = 9
 ・選択数付属FA：Q6 = 8 (必須回答 /100文字以内)

*【Q6】 お子さま(第1子)が**家庭でお使いのパソコン**では、次のどの「フィルタリング」を利用していますか？または利用していましたか？あてはまるものをいくつでもお選びください。(複数回答可)

- 1. サービス(プロバイダやポータルサイトで申し込みをしたもの)
- 2. フィルタリング専用ソフト(店で購入したもの)
- 3. フィルタリング専用ソフト(パソコンに付属していたもの)
- 4. フィルタリング専用ソフト(ダウンロードしたもの)
- 5. フィルタリング専用ソフト(ネットマナー教材に添付していたもの)
- 6. (専用でないが)フィルタリング機能がついているソフトや商品
- 7. 家庭用ブロードバンドルータなどのネットワーク機器のフィルタリング機能
- 8. その他 (50字以内で具体的に記入ください)
- 9. わからない(把握していない)

【ページ5設定】 画面分岐条件： Q5M001 = 1,3 or Q5M002 = 1,3 or Q5M003 = 1,3 or Q5M004 = 1,3

【Q7設定】
 ・必須回答
 ・Q5の回答(1,3)を項目として続込表示

*【Q7】 お子さまがパソコンや携帯電話を利用する際、「フィルタリング」の**有害サイトのブロック(遮断)状況**はどうか？または、どうでしたか？パソコンや携帯電話など、端末それぞれの利用について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

	1 ほぼブロックできる	2 時々ブロックできないことがある	3 あまりブロックできない	4 わからない/把握していない
* (1) 家庭のパソコン(家族共用も含む)	→ ○	○	○	○
* (2) 携帯電話	→ ○	○	○	○
* (3) ゲーム機	→ ○	○	○	○
* (4) テレビ機	→ ○	○	○	○

【ページ6設定】 画面分岐条件： 全員

【Q8設定】
 ・必須回答
 ・グルーピングランダムミス(選択数)
 ・ランダムミス方法:グループ内(Q8 = 16以外)
 ・排他設定選択数：Q8 = 16

*【Q8】 「フィルタリングのイメージ」や「お子さま(第1子)のインターネット利用」について、あなたのお考えに近いものを、いくつでもお選びください。(複数回答可)

- 1. フィルタリングの「**機能や効果**」がよくわからない
- 2. フィルタリングの「**利用申込や購入方法**」がよくわからない
- 3. フィルタリングの「**利用料金(無料のものがあるか、高いのか等)**」がよくわからない
- 4. フィルタリングは「**パソコンやソフト、携帯電話等の設定が難しいのではない**か」心配である
- 5. フィルタリングで「**有害なサイトの閲覧を確実に制限できる**か」心配である
- 6. フィルタリングで「**無害なサイトの閲覧まで制限される**のではない」か」心配である
- 7. フィルタリングで「**大人のインターネット利用が不便になる**のではない」か」心配である
- 8. フィルタリングを「**いずれ導入しよう**」と思いつつ、何となくタイミングを逃して利用していない
- 9. フィルタリングで閲覧制限をしなければいけないほど、**インターネットが自分の子ども(第1子)に有害だとは思わない**
- 10. 自分の子ども(第1子)は、**有害なサイトを見ていない**と思う
- 11. 自分の子ども(第1子)が、**インターネット利用のルールとマナーを守っていれば、フィルタリングは必要ない**
- 12. 自分の子ども(第1子)には、**有害なサイトも含めある程度自由に見せ、世の中のことを知って欲しい**
- 13. 自分の子ども(第1子)には、**有害なサイトも含めある程度自由に見せ、情報を選別する能力を高めて欲しい**
- 14. 自分の子ども(第1子)のインターネット利用に、**あまり干渉したくない**
- 15. 自分の子ども(第1子)は、**フィルタリングを必要とする年齢ではない**(「まだ早い、または「もう不要」)
- 16. 上記のいずれにもあてはまる考えはな

調査画面

【ページ7設定】 ・画面分岐条件： 全員

【Q9設定】 ・必須回答

* 【Q9】 インターネットを利用した以下の機能やサービスについて、あなたのお子さま(第1子)が利用することに賛成ですか？反対ですか？それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを、1つだけお選びください。(以下の機能やサービスについて、ご存じない方は、選択肢の「どのような機能・サービスだかわからない」を選んでください。)

	1. 賛成	2. どちらかという賛成	3. どちらかという反対	4. 反対	5. どのような機能・サービスだかわからない
* (1)メールの利用	→ ○	○	○	○	○
* (2)チャットの利用	→ ○	○	○	○	○
* (3)掲示板への書き込み	→ ○	○	○	○	○
* (4)自分のホームページやブログの作成	→ ○	○	○	○	○
* (5) SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の利用	→ ○	○	○	○	○
* (6)ブログの利用(自分のプロフィールや自己紹介の公開)	→ ○	○	○	○	○
* (7)オンラインゲームの利用	→ ○	○	○	○	○
* (8)ショッピングサイトやオークションサイトでの買い物	→ ○	○	○	○	○

【ページ8設定】 ・画面分岐条件： 全員

【Q10設定】 ・必須回答
 ・ランダムイズ設定 (Q10 = 8, 9, 10以外)
 ・排他設定選択肢: Q10 = 9, 10
 ・選択肢付属FA: Q10 = 8 (必須回答 /100文字以内)

* 【Q10】 あなたのご家庭では、お子さま(第1子)がインターネットを利用するに当たって、次にあげるようなルールを決めていますか？あてはまるものをいくつでも選んでください。(ここでは、フィルタリング等のソフトを利用することは、ルールから除外して考えてください。)(複数回答可)

- 1. 常に保護者の目の届く所で使わせている(例:保護者と一緒に使う、リビングで使う)
- 2. 1日の利用時間を決めている
- 3. 許可するサイトの範囲やインターネット利用目的を決めている(例:18禁のサイトは見ない、宿題のための利用は可)
- 4. 知らない人とコミュニケーション(例:メール、実際の出会)いをさせないようにしている
- 5. 保護者が「サイト閲覧の履歴やメールの中身をチェックするよ」と子どもに伝えている
- 6. 個人情報(例:氏名、電話番号、住所、写真など)を書き込まないようにさせている
- 7. 「困ったことやトラブルが発生したら保護者に相談しなさい」と伝えている
- 8. その他 (どのようなルールか簡単に50字以内でご記入ください)

- 9. くにルールは決めていない
- 10. わからない(把握していない)

調査画面

【ページ9設定】 画面分岐条件： 全員

【Q11設定】 必須回答
 排他設定選択肢： Q11 = 6, 7

★【Q11】 近年、利用者が増えているコミュニティサイト(※1)や、有害サイト(※2)を利用・閲覧することによって、(1)～(4)のような危険性があるとされています。このような危険性を避けるためには、「**誰が、どのような方法で対応すべき**」だと思いますか？あなたのお考えにあてはまるものをいくつか選んでください。(複数回答可)

※1コミュニティサイト：インターネット上の掲示板、ブログ、SNS(SocialNetworkingService)など、子どもでも書き込みが可能で、双方向のコミュニケーションができるサイト
 ※2有害サイト：アダルトサイト・出会い系サイト・暴力的なサイトなど

	1. パソコンやケータイで、「書き込みや閲覧を制限する機能」をつける	2. 保護者が家庭で「教育」する(例)「見てもよい」サイトを決める(例)ネットの使い方をチェックする(例)ネットの危険性を話す機会を作る	3. インターネットのサイト管理者側が、「本人確認や年齢確認等」の方法によって、子どものアクセスを制限する	4. 学校で、ネットの危険性をとりあげ「教育」する	5. 学校で、ネットの正しい使い方について「教育」する	6. 特に制限することなく、いろいろな経験して覚えさせる	7. 誰が、どのように対応するべきか、わからない
★(1)お子様の書込やプロフィール表示等により、 個人情報 (例:氏名、電話番号、住所、写真など)が 流出する危険性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
★(2)インターネットを通じて、知らない他人と現実社会で出会うことにより、 トラブルに巻き込まれる危険性 (例:出会い系サイトを通じた援助交際、呼出しによる暴行等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

★(3)お子さまの書込等の内容に問題があり、 ネット上の誹謗中傷やいじめの加害者になってしまう危険性	<input type="checkbox"/>						
★(4)有害なサイトを見て、 あなたのお子さまが悪影響を受ける危険性 (例:わいせつ、薬物、喫煙、残虐サイト等)	<input type="checkbox"/>						

【ページ10設定】 画面分岐条件： 全員

【Q12設定】 必須回答

★【Q12】 あなたは、本年の6月に成立し、来年4月1日から施行が予定されている、**いわゆる「青少年ネット利用環境整備法」(青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律)を知っていますか？**また、条文の中に保護者の責務(※)の条項があることをご存じですか？あてはまるものを1つだけ選んでください。

(※条文より抜粋)
http://www.shugiin.go.jp/itdb_gian.nsf/html/gian/honbun/houan/g16901030.htm
 第六条 保護者は、インターネットにおいて青少年有害情報が多く流通していることを認識し、自らの教育方針及び青少年の発達段階に応じ、その保護する青少年について、インターネットの利用の状況を適切に把握するとともに、青少年有害情報フィルタリングソフトウェアの利用その他の方法によりインターネットの利用を適切に管理し、及びその青少年のインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努めるものとする。
 2 保護者は、携帯電話端末及びPHS端末からのインターネットの利用が不適切に行われた場合には、青少年の売春、犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに特に留意するものとする。

- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはあるが、保護者の責務は知らない
- 3. 知らない

調査画面

【Q13設定】 ・必須回答

* 【Q13】 あなたご自身とお子さま(第1子)では、どちらがインターネットやパソコンについて詳しいですか？最もあてはまるものを1つだけお選びください。

- 1. ご自身の方が詳しい
- 2. どちらかと言うとご自身の方が詳しい
- 3. ほぼ同じくらい
- 4. どちらかと言うとお子さまの方が詳しい
- 5. お子さまの方が詳しい

【Q14設定】 ・必須回答

* 【Q14】 あなたの過去1年間(2007年11月～2008年10月)における、ブログ・SNS(SocialNetworkingService)・掲示板の利用状況について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

	1. ほとんど毎日利用	2. 週に3～4回くらい利用	3. 週に1～2回くらい利用	4. 月に2～3回くらい利用	5. 月に1回以下利用	6. 行っていない
* (1) ブログ・SNS・掲示板の閲覧 →	<input type="radio"/>					
* (2) ブログ・SNS・掲示板の書き込み →	<input type="radio"/>					
* (3) 自分のブログ・SNS・掲示板を開設・運営 →	<input type="radio"/>					

【ページ11設定】 ・画面分岐条件： 全員

【F1設定】 ・必須回答

* 【F1】 あなたの性別をお答えください。

- 1. 男性
- 2. 女性

【F2設定】 ・必須回答

* 【F2】 あなたの年代をお答えください。

- 1. 20代
- 2. 30代
- 3. 40代
- 4. 50代
- 5. 60代以上

【F3設定】 ・必須回答

* 【F3】 お子さま(第1子)の学年と性別をお答えください。

- 1. 子どもはいない
- 2. 小学3年生以下・男子
- 3. 小学3年生以下・女子
- 4. 小学4年生・男子
- 5. 小学4年生・女子
- 6. 小学5年生・男子
- 7. 小学5年生・女子
- 8. 小学6年生・男子
- 9. 小学6年生・女子
- 10. 中学1年生・男子
- 11. 中学1年生・女子
- 12. 中学2年生・男子
- 13. 中学2年生・女子
- 14. 中学3年生・男子
- 15. 中学3年生・女子
- 16. 高校1年生・男子
- 17. 高校1年生・女子
- 18. 高校2年生・男子
- 19. 高校2年生・女子
- 20. 高校3年生・男子
- 21. 高校3年生・女子
- 22. その他・男子
- 23. その他・女子

調査画面

【F4設定】 ・必須回答

* 【F4】 あなたがお住まいの都道府県をお答えください。

▼お選びください▼

【F5設定】 ・必須回答

* 【F5】 あなたと同居しているお子様の人数をお答えください。

- 1. 0人
- 2. 1人
- 3. 2人
- 4. 3人
- 5. 4人以上

【F6設定】 ・必須回答

* 【F6】 あなたは共働きしていますか？

- 1. 共働きしている
- 2. 共働きしていない